

中央区の学校案内

＝令和7年度新入学児童・生徒用＝



中央区マスコットキャラクター

ゆめまるくん

令和6年8月
大阪市中心区役所

7つの国のことばで学校選択制(学校を選ぶためのルール)の説明を読むことができます。

■English



■中文简体



■繁體中文



■한글



■Tagalog



■TiếngViệt



■नेपाली



—目 次—

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
中央区の学校選択制の概要・・・・・・・・・・	3
希望調査票の記入について・・・・・・・・・・	9
希望調査票記入例（小学校新1年生）・・・・・	10
希望調査票記入例（中学校新1年生）・・・・・	12
入学までのスケジュール・・・・・・・・・・・・・	14
就学時健康診断について（新小学校・義務教育学校1年生）・・・・・	14
小学校・中学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	15
麻しん・風しん混合（MR）ワクチンの接種について・・・・・・・・・・	15
中央区内の通学区域一覧・・・・・・・・・・・・・	16
通学区域略図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
各学校の受入人数、学校公開日・学校説明会の日程・・・・・・・・・・	18
大阪市の就学・進学相談～障がいのあるお子様のよりよい就学・進学に向けて～・・	19
小中一貫校児童生徒の全市募集について・・・・・・・・・・	21
児童いきいき放課後事業について・・・・・・・・・・	22
—参考資料—	
全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果・・・・・	23
小学校紹介	
玉造小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
南大江小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
中大江小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
高津小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
開平小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
中央小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
中学校紹介	
東中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
南中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
上町中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
令和6年度中学校部活動（参考）・・・・・・・・・・	44

—はじめに—

大阪市では、お子さまが大阪市立の小学校・中学校に入学される際に、住所地により設定された通学区域の学校への就学は必ず保障したうえで、該当区内の通学区域外の小学校・中学校について、各学校が受入可能な人数の範囲内で就学できる学校選択制を導入しています。

このたびは、令和7年度新入学児童・生徒の方を対象として、学校選択の手続きとともに学校を選択する際に役立つよう、各小学校・中学校の特色などをご案内する冊子をお届けしました。本冊子をご一読いただきますとともに、学校ごとの学校公開や学校説明会の機会、また、中央区のホームページや各学校のホームページもご活用いただき、学校選択にお役立ていただければと思います。

一方、中央区では、児童生徒の急増により、教室の不足・運動場の狭隘化が課題となっている状況です。このため収容規模を超えた児童・生徒数とならないよう、一部の学校では学校選択制による受け入れ可能人数がより少数となる場合があります。なお、居住実態のない住所に住民登録の届出をし、就学すべき学校以外の学校に就学することは違法であり、いわゆる越境入学による通学は、子どもたちにルールを守らなくてもよいという誤った認識をもたらすことになります。保護者の皆様にはご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

学校選択制を通じて、お子さまや保護者のみなさまが学校教育への関心を深めていただき、各学校において特色ある学校づくり、開かれた学校づくりが進んでいくことを期待いたしますとともに、中央区内におけるお子さまの健やかな成長を心から願っております。



中央区長 稲嶺 一夫
中央区担当教育次長

—中央区の学校選択制の概要—

1 学校選択制について

大阪市では、お子さまが市立小中学校に通う場合、住所地により設定された通学区域に基づいて就学する学校（以下「通学区域の学校」といいます）を指定しています。

学校選択制は、小中学校への入学時に、希望者が通学区域の学校以外の学校を選択できる制度です。ご本人を含めご家族でよく相談いただき、学校を選択してください。

ご注意ください！

重 要

市立学校に就学希望の方に加え、私立、国立等の学校を受験予定の方も、**希望調査票は必ず全員提出してください**。提出のない場合は通学区域の学校を希望したものと判断します。**提出期限：令和6年10月31日(木)必着**

重 要

学校選択制を利用して通学区域外の小学校に入学・卒業しても、就学が保障される中学校は通学区域の中学校になります。

就学する通学区域外の小学校から引き続き通学区域外の中学校へ進学を希望される場合は、中学校新1年生になる前に、学校選択制により通学区域外の中学校を希望する「希望調査票」を提出していただく必要があります。ただし、受入人数によっては希望する中学校に通えない可能性があります。

※学校選択の際の優先事由に関することは1-5をご覧ください

重 要

姉や兄が学校選択制を利用して通学区域外の学校に在学中で、妹や弟も同じ学校に通うことを希望された場合でも、きょうだいで学校が別々になる可能性があります。

※学校選択の際の優先事由に関することは1-5をご覧ください

- ・ **選択は入学時の1回のみ**です。学年途中や進級時の選択はできません。また、**選択対象は中央区内の市立小中学校**です。他区の市立学校は選択できません。
- ・ 学校選択制を利用した結果、**通学区域外の学校への就学が決定した場合、辞退して通学区域の学校へ就学することはできません。**
- ・ 学校選択制を利用する場合、**通学の安全確保は保護者の責任**です。
登下校時に保護者が付き添うなど、無理なく通えるよう配慮をお願いします。
小学校の場合は、登下校時の地域見守り活動や、児童いきいき放課後事業の下校時のルール等が学校によって異なります。通学のルールについて、事前に各学校へご確認ください。自転車通学は禁止です。やむを得ず通学に公共交通機関を利用する場合の料金等は自己負担です。

1-1 学校選択制の対象は？

中央区内に在住している令和7年4月に入学予定の「小学校新1年生」の児童と「中学校新1年生」の生徒です。学年途中や進級時に選択することはできません。

1-2 どの学校でも選べますか？

中央区の学校選択制は、区内すべての市立小中学校が選択対象です。ただし、通学区域外からの受入には限りがあります。また、他区の市立学校は選べません。

※大阪市立の施設一体型小中一貫校を選択する場合は21ページをご覧ください

1-3 学校ごとの受入人数は何人ですか？

18ページに現時点の目安を掲載しています。今後の転出入の状況等により受入人数は変動するため、最終的な受入人数は18ページの表から大きく変わる場合があります。受入が発生しない学校もあります。

1-4 希望した学校には必ず通いたいです。どうしたらよいですか？

お住まいの通学区域の市立学校を希望する場合は必ず入学できますが、**学校選択制は希望した通学区域外の学校に必ず通えるよう保証する制度ではありません。**

なお、16ページ「中央区内の通学区域一覧」に記載のとおり、お住まいの地域ごとにあらかじめ通学区域の学校が設定されております。お引越しをされる場合等で、就学先となる通学区域の学校を知りたいときには「中央区内の通学区域一覧」を参考にしてください。

1-5 入学にあたって優先事由はありますか？

下記の（ア）（イ）が優先事由です。

（ア）学校選択制で通学区域外の学校に姉や兄が在学中で、令和7年4月以降も引き続き在学する場合に、妹や弟が同じ学校を希望したとき

優先事由（ア）に該当する場合、希望調査票の「優先事由」欄に（ア）を記入し、きょうだいの氏名等をご記入ください。

（イ）学校選択制で通学区域外の小学校に在籍している場合で、その小学校の進学先である通学区域外の中学校を希望したとき

優先事由（イ）に該当する場合、希望調査票の「優先事由」欄に（イ）をご記入ください。

⇒（イ）の場合、中学校新1年生になる前に再度学校選択を行っていただき、必ず「希望調査票」を提出していただきますようお願いいたします。

注 意 **あくまでも受入人数の範囲内での優先であり、希望した通学区域外の学校に必ず通えるよう保証するものではありません。**通学区域外からの受入人数はその年によって変動します。上記（ア）、（イ）の事由に該当する場合であっても、希望した学校に通えない場合があります。また、家から学校への距離が近いことは優先事由になりません。

2 学校決定までの流れ (14 ページ「入学までのスケジュール」もご覧ください)

2-1 学校選択制希望調査票はいつ、どこに提出するのですか？

期限までに必ず「希望調査票」を郵送又は窓口持参により提出してください。お住まいの通学区域の学校に就学希望の方や、私立や国立等の学校を受験予定の方も、全員提出をお願いします。

期限までに提出がない場合や、希望校が未記入の場合は、お住まいの通学区域の学校を希望したものと判断します。

期 限 令和6年10月31日(木) 必着 (窓口持参の場合は午後5時30分まで)

担 当 中央区役所窓口サービス課(住民登録) 区役所1階 8番窓口

2-2 希望調査の結果はどのように確認できますか？

- (1) **個別に「希望調査結果通知書」を発送します**ので、ご確認ください。

発送時期 令和6年11月11日(月)～12日(火)

対象者 回答の有無にかかわらず全員

- (2) **各校の受入人数及び希望者数は、中央区のホームページで公表します。**

公表日 令和6年11月14日(木)

注 意 各校の受入人数は、18ページの目安から増減する場合があります。

2-3 希望校を変更できますか？

1回に限り、希望校を変更できます。中央区役所にご来庁のうえお手続きいただきます。

電話、郵送等での受付はできません。また、各学校の変更状況のお問合せにはお答えできませんのでご了承ください。変更受付期間後に、最終結果を公表します。(2-5参照)

変更期間が始まる前に、まずは下記担当までお電話ください。

担 当 中央区役所窓口サービス課(住民登録) 電話 06-6267-9963

受付期間 令和6年11月15日(金)～21日(木) 午前9時から午後5時30分まで

注 意 期間を過ぎてからの変更は一切受けておりません。必ず期間内にお手続きください。

2-4 希望者数が受入人数を超えた場合はどうなりますか？

通学区域外からの入学希望者を対象に、公開により抽選を行います。当選された方は希望校への入学が決定します。

2-5 最終的な希望調査の結果や抽選の有無はいつ確認できますか？

最終結果や、各学校の抽選の有無について、中央区のホームページで公表します。

最終結果公表日 令和6年12月2日(月)

2-6 抽選はいつ、どこで行われますか？

抽選日時、場所は次のとおりです。

日 時 令和6年12月9日(月) 午前10時から

場 所 中央区役所会議室

通学区域外の学校を希望された方に、下記の日程で抽選の実施に関するお知らせを発送します。

発送期間 令和6年11月27日(水)～11月29日(金)

2-7 抽選のとき、自分のくじを引くことはできますか？

抽選は中央区役所職員が行います。**ご自身でくじを引いていただくことはできません。**

抽選は公開して行いますので、様子をご覧になりたい方は直接会場にお越しください。

ただし、観覧者多数の場合は、入場をお断りする場合があります。

2-8 第2希望や第3希望はどのように取り扱われますか？

(1) 第1希望者のみで受入人数を超えた場合

第1希望者のみで抽選を行い、第2希望者以降の方の受入はありません。

(2) 第1希望者のみでは受入人数を超えない場合

第2希望者の受入を行います。第2希望者までで受入人数を超える場合、

第2希望者のみで抽選を行います。

(補足) 第3希望者についても同様の流れです。

2-9 抽選結果はどうすればわかりますか？

中央区のホームページに抽選結果を公表します。

公表日 令和6年12月10日(火) 予定

担 当 中央区役所窓口サービス課(住民登録)

区役所1階 8番窓口 電話 06-6267-9963

*抽選結果を直接お問い合わせいただく際は、12月10日(火)以降にお願いします。

2-10 抽選でもれたらどうなりますか？

第1希望校の抽選でもれて第2希望以降の学校がない場合、第1希望校の補欠リストに登録されます。(2-11参照)

第2希望以降での受入がない場合は、第1希望校の補欠リストに登録されます。

第2希望以降の学校があり、受入が可能な場合は、2-8(2)のとおり取り扱います。

補欠リストに登録された方には、補欠番号通知書を発送します。

注 意 第2希望校以降での受入が可能な場合は、第1希望校の補欠リストには登録されません。希望校が第1希望の学校のみの場合は、第2希望以降の学校は記入しないで空欄のままにしてください。

2-11 補欠リストとはなんですか？

補欠リストとは、繰上当選の際の順番を定めたリストです。第2希望以降の補欠リストはありません。補欠リストに登録する順位についても抽選を行います。

私立や国立等の学校への入学による辞退者が出た場合など、受入が可能となった際に、抽選もれた第1希望者を順に繰り上げて受け入れます。

2-12 当選を辞退できますか？

抽選で当選して就学する学校が決定したあとに、当選を辞退し、通学区域の市立学校に就学することはできません。また、第2希望の当選を辞退し、第1希望の補欠に回ることもできません。

ただし、当選された方が、私立や国立等の学校への入学が決まった場合は、区役所窓口への届出により辞退となります。(3-2参照)

2-13 補欠登録を辞退することはできますか？

期限までに区役所へ申し出てください。補欠を辞退することで、通学区域の学校への就学が確定します。

また、2-12と同様、補欠登録された方が私立や国立等の学校への入学が決まった場合は、区役所窓口への届出により辞退となります。(3-2参照)

- | | | |
|-----|-----------------------|-----------------------|
| 期 限 | 小学校 | 令和7年2月7日(金)午後5時30分まで |
| | 中学校 | 令和7年2月14日(金)午後5時30分まで |
| 方 法 | 保護者の方が、直接窓口にお越しください。 | |
| 持参物 | 補欠番号通知書、保護者本人と確認できる書類 | |
| 窓 口 | 中央区役所窓口サービス課（住民登録） | 区役所1階8番窓口 |

2-14 補欠で何人繰り上がるのですか？

いつ何人の繰上が発生するかは、その年ごとその学校ごとに異なります。私立や国立等の学校への入学による辞退者が出た場合など、受入が可能となった際に繰上を行います。最終的に繰上が発生しないこともあります。

3 就学先の決定

3-1 就学する学校はどうすればわかりますか？

12月下旬に、就学通知を発送します。補欠リストに登録されて繰上を待っておられる方へは、いったんお住まいの通学区域の学校名が記載された就学通知をお送りします。

3-2 私立や国立の学校への入学が決まりました。何か手続きが必要ですか？

私立や国立等の学校に入学することが決まり、区内の市立学校に就学しない方は、決まり次第、速やかに区役所窓口にてお手続きをお願いします。

- | | |
|-----|--|
| 方 法 | 保護者の方が、直接窓口にお越しください |
| 提出物 | 実際に入学する学校から発行される「入学許可証」(原本) |
| 窓 口 | 中央区役所窓口サービス課（住民登録） 区役所1階 8番窓口 |
| お願い | <u>手続きが遅くなると、補欠の方がいる場合は繰上に大きく影響します。私立や国立等の学校に入学が決まりましたら、速やかに手続きくださいますようご協力をお願いします。</u> |

3-3 補欠の繰上はいつ、どのように決まりますか？

繰上期限までに繰上となった方には、区役所から電話連絡し意思確認を行います。意思確認書を発送しますので、回答のうえ提出してください。

- | | |
|------|--|
| 繰上期限 | 小学校 令和7年2月7日(金)まで |
| | 中学校 令和7年2月14日(金)まで |
| 注 意 | <u>回答がない場合は繰上を辞退したものとして取り扱います。</u>
<u>発送の時期が例年2月頃となっており、回答までの期限が短くなる場合もありますのでご注意ください。</u> |

3-4 学校選択制により就学する学校が決定しましたが、理由があって子どもをいわゆるインターナショナルスクールに通わせることはできますか。

学校教育法第1条に定める学校に当たらないインターナショナルスクールに通わせる場合は、同法16条に定める教育の義務を果たすことができないため、やむを得ない事由で就学が困難と認められない限り、保護者の方は日本の国籍を有する学齢の子を原則として学校選択制により決定した学校に就学させる義務があります。

4 引越したら

4-1 令和7年4月までに区外へ転出した場合はどのようにになりますか？

学校選択制は区内の学校が対象です。**中央区外へ転出した場合は中央区の学校に通うことはできません。**市外転出される場合は転出先自治体の就学制度に基づき、通学する学校が決まります。

4-2 令和7年4月までに区内で転居するため、入学時点の通学区域の学校は希望調査票に記載された学校と異なります。転居後の通学区域の学校に就学を希望する場合は、希望調査票にどのような記載をすればよいですか？

希望調査票に記載されている通学区域の学校に関わらず、1「通学区域の学校への就学を希望する」に○をつけ、調査票の余白に転居予定（時期・地域等）をご記入のうえ提出してください。

4-3 希望変更期間後に中央区に転入する場合は学校選択できないのですか？

希望変更期間後に新たに他区・他都道府県等から中央区に転入してこられた方は、受入人数に余裕がある学校のみ選択できます。なお、中央区内で転居する方は対象外です。

問合せ：中央区役所窓口サービス課（住民登録） 区役所1階8番窓口 電話：06-6267-9963

5 指定校変更

5-1 指定校変更の制度はどうなるのですか？

保護者が労働等により昼間家庭にいないことにより、児童の在宅が困難であるため、保護者の勤務地又は保護者に代わる親族の住所の属する通学区域の小学校に就学を希望する場合など、住所地または学校選択制によらない学校の指定を行うことがあります。詳しくは、大阪市のホームページ【指定校変更・区域外就学について】をご覧ください。 （QRコードをご利用ください）

問合せ：中央区役所窓口サービス課（住民登録）

区役所1階8番窓口 電話：06-6267-9963



6 その他の留意事項

6-1 通学区域外の学校に就学する場合でも、地域の活動に参加する必要がありますか？

通学区域外の学校に就学することになっても、学校を中心とした地域活動へは積極的に参画していただくようお願いします。PTA活動についても積極的な参画をお願いします。

6-2 標準服や準備する学用品は区内の学校で共通ですか？

各学校とも標準服があり、学校ごとに仕様が異なります。また、学用品の中には学校で指定しているものもあります。

—希望調査票の記入について—

1 必ず、第2希望校、第3希望校（小学校のみ）まで書かないといけないのですか？

通学区域外の学校を希望する際の学校名の記入にあたっては、ご本人を含めてご家族でよくご相談いただき、第2希望、第3希望の学校がなければ空欄にしてください。

2 私立や国立等の学校を受験予定です。その場合はどのように記入すればよいですか？

(1) 私立や国立等の小・中学校を受験予定で、**結果により通学区域の学校を希望する場合**

小学校新1年生の方は「1 通学区域の学校への就学を希望する。」及び希望調査票の一番下の段の「2 私立もしくは国立小学校を受験する予定がある。」に○をつけてください。

中学校新1年生の方は「1 通学区域の学校への就学を希望する。」及び希望調査票の一番下の段の「2 私立・国立中学校・選抜を実施する公立中学校を受験する予定がある。」に○をつけてください。

(2) 私立や国立等の小・中学校を受験予定で、**結果により通学区域外の学校を希望する場合**

小学校新1年生の方は「2 1以外の選択可能な学校への就学を希望し、希望する学校（選択校）は下記のとおりとする。」に○をつけ、希望調査票の学校選択制希望欄に希望する市立学校名を記載してください。また、希望調査票の一番下の段の「2 私立もしくは国立小学校を受験する予定がある。」に○をつけてください。

中学校新1年生の方は「3 1、2以外の選択可能な学校への就学を希望し、希望する学校（選択校）は下記のとおりとする。」に○をつけ、希望調査票の学校選択制希望欄に希望する市立学校名を記載してください。また、希望調査票の一番下の段の「2 私立・国立中学校・選抜を実施する公立中学校を受験する予定がある。」に○をつけてください。

3 優先事由にあてはまる場合は、どのように記入すればよいですか？

4ページ 1-5をご確認のうえ、希望調査票にご記入をお願いします。

4 令和7年4月までに区内で転居する予定があり、転居後の通学区域の学校が異なる場合は、どのように記入すればよいですか？

8ページ 4-2をご確認のうえ、希望調査票にご記入をお願いします。

10ページから13ページの記載例を参考にご記入ください。

小学校新1年生 記入例

- ・通学区域の学校希望 ⇒ 「◆学校選択制希望」欄の 1 に○
- ・通学区域外の学校希望 ⇒ 「◆学校選択制希望」欄の 2 に○をして希望する市立学校を記入
- ・私立国立等を受験予定で、特に市立学校の希望がない場合
⇒ 「◆学校選択制希望」欄の 1 に○をして
調査票下部の「私立もしくは国立学校を受験する予定がある。」にも○をする

学校選択制希望調査票

- ・必要事項を記入の上、期限内に同封の返信用封筒により、お住まいの区役所まで郵送またはご持参ください。
- ・通学区域の学校を希望する場合を含め、全員、学校選択制希望調査票をご提出ください。
- ・選択可能校の希望者の数とその学校の受入人数を超えた場合は、抽選となります。
- ・学校選択制においては、異なる通学区域へ転居した場合等を除き、希望確定後の変更や辞退、入学後の転校は認められません。

希望調査番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
就学予定者氏名	〇〇 〇〇	生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
保護者氏名	〇〇 〇〇		
住所	中央区〇〇〇★丁目★★番★★-★★★号 マンション〇〇		
選択基準の学校	〇〇〇小学校	連絡先 (自宅)	
通学区域の学校	〇〇〇小学校	連絡先 (日中帯)	

連絡先に自宅と日中の連絡先を記入してください
(連絡のつきやすい番号のご記入をお願いします)

◆学校選択制希望

ご希望により以下の該当する数字に○をつけ、2 を選ぶ

- 1 通学区域の学校への就学を希望する。
- 2 1 以外の選択可能な学校への就学を希望し、希望する学校（選択校）は下記のとおりとする。
抽選となった時に優先されるべき事由（記入要領を参照）がある場合は、下記にご記入ください。

1、2のいずれにも○がない場合は、「1 通学区域の学校への就学を希望する」を選んだものとみなします

第1希望校学校名	●●●小学校	優先事由	
第2希望校学校名	◎◎◎小学校		
第3希望校学校名	■●●小学校		

希望校学校名について

- ・通学区域「外」の学校を希望する場合のみ区内市立学校名を記入してください
- ・通学区域の学校や、私立国立等の学校名は記入不要です

優先事由に該当する場合は、「優先事由」欄に(ア)を記入してください
(4ページ 1-5参照)

(2 を選ばれた方のうち該当する場合のみ記入してください)

きょうだいの氏名	年 組	年 組
----------	-----	-----

◆確認事項

- ・新1年生同士（双子等）で同一の学

優先事由(ア)に該当するきょうだいの氏名等を記入してください。

双子等の氏名	
--------	--

- ・特別支援学級への就学を希望される方は、いずれかの数字に○をつけてください。
 - 1 小学校・義務教育学校に就学相談をしており、特別支援学級への就学を希望する。
 - 2 小学校・義務教育学校に就学相談をしていないが、特別支援学級への就学を希望する。
※ 2 に○をつけた方は、至急、通学区域の学校に就学相談をしてください。
- ・下記の学校へ就学する予定（希望）のある方は、該当する数字に○をつけてください。
 - 1 現在、支援学校への就学を相談中（相談予定）である。
 - 2 私立もしくは国立小学校を受験する予定がある。

(バーコード)

Incoming Elementary School First Grade Students ~Questionnaire Sample~

- To request public elementary school designated by school district ⇒ please circle ☐ #1 under the ◆Selection Section.
- To request a public elementary school other than the designated school ⇒ please circle ☐ #2 under the ◆Selection Section and indicate the names of schools you wish to attend.
- In the case of taking entrance exams for private or national elementary schools, and not having the intention to attend a public elementary school, ⇒ please circle ☐ #1 under the ◆Selection Section and circle ☐ "Student is planning to take entrance exams for private or national elementary schools" at the bottom of the questionnaire.

School Selection System Questionnaire

- After completing the questionnaire, please return it before the deadline in the enclosed envelope to your registered ward office either in person or by post.
- Every incoming student, including those who wish to attend the designated public elementary school, is required to submit the School Selection System Questionnaire.
- If the number of students requesting school selections exceed the limit, a lottery process will take place.
- Excluding cases of moving to another school district, once school selection decision is made, changes to selection, withdrawals from school, or transferring from school after enrollment will not be accepted.

Questionnaire Number	○○○○-○○-○○○○		
Student's Name	○○ ○○	Date of Birth	YYYY/MM/DD
Guardian's Name	○○ ○○		
Address	○○○Ward★Chome★★Number Apt. ○○		
School Based on Selection Standards	○○○ Elementary School	Telephone (Home)	
Designated School by School District	○○○ Elementary School	Telephone (Daytime)	

Please provide home and daytime phone numbers where we can contact you easily.

◆Selection Section

Please circle the number that applies to you. If you **If #1 or #2 is not circled at all, choice #1 "Request to attend the designated school will be selected by default."**

1. I wish to attend the designated school.
- ☒ 2. I wish to attend a school that is not the designated school, and I wish to attend the schools indicated below.

If there is any reason to prioritize choice of school when the lottery is drawn, please write it down below.

1st Choice	○○○ Elementary School	Reason to Prioritize	
2nd Choice			
3rd Choice			

Regarding Choice of School

- Only write down the names of municipal schools other than designated school.
- Do not write down the names of your designated school, private schools, or national schools.

If it corresponds with "Reason to Prioritize", please fill in (page 4, 1-5 Reference).

(If you chose #2 and the following applies to you, please complete.)

Sibling's Name	Grade Class	Date of Birth: YYYY/MM/DD
----------------	-------------	---------------------------

◆Items to confirm

- If both children are incoming year one students (e.g. twins) and wish to attend the same school, please provide names below.

Name(s) of twin, etc.	
-----------------------	--

If it corresponds with "Reason to Prioritize", please fill in sibling's name.

- For those who intend to attend schools that provide special learning support, please circle either of the statements below.

1. Consultation was made with the elementary/compulsory education school, and the intention is for the student to attend a school that offers special learning support.
2. Consultation has not been made with the elementary/compulsory education school, but the intention is for the student to attend a school that offers special learning support.

※ For those who circled #2, please promptly consult with the designated school.

- Please circle all that applies if the individual decided to (or intends to) attend the following schools.

1. Consultation is ongoing (or consultation will be scheduled) with special needs school.
2. **Student is planning to take entrance exams for private or national elementary schools.**

(Barcode)

中学校新1年生 記入例

- ・通学区域の学校希望 ⇒ 「◆学校選択制希望」欄の1に○
- ・通学区域外の学校希望 ⇒ 「◆学校選択制希望」欄の3に○をして希望する市立学校名を記入
- ・私立国立等を受験予定で、特に市立学校の希望がない場合
⇒ 「◆学校選択制希望」欄の1に○をして
調査票下部「私立もしくは国立学校を受験する予定がある。」にも○をする

学校選択制希望調査票

- ・必要事項を記入の上、期限内に同封の返信用封筒により、お住まいの区役所まで郵送またはご持参ください。
- ・通学区域の学校を希望する場合を含め、全員、学校選択制希望調査票をご提出ください。
- ・選択可能校の希望者の数とその学校の受入人数を超えた場合は、抽選となります。
- ・学校選択制においては、異なる通学区域へ転居した場合等を除き、希望確定後の変更や辞退、入学後の転校は認められません。

希望調査番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
児童氏名	〇〇 〇〇	生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日
保護者氏名	〇〇 〇〇		
住所	中央区〇〇〇★丁目★★番★★-★★★号 マンション〇〇		
選択基準の学校	〇〇中学校	連絡先 (自宅)	
通学区域の学校	〇〇中学校	連絡先 (区立校)	

連絡先に自宅と日中の連絡先を記入してください
(連絡のつきやすい番号のご記入をお願いします)

◆学校選択制希望

ご希望により以下の該当する数字に○をつけ、3を希望する場合は、1、2、3のいずれにも○がない場合は、「1 通学区域の学校への就学を希望する」を選んだものとみなします

- 1 通学区域の学校への就学を希望する。
- 2 引き続き小中一貫校への就学を希望する。
- 3 1、2以外の選択可能な学校への就学を希望し、希望する学校（選択2は大阪市立小中一貫校希望の方のみ）抽選となった時に優先されるべき事由（記入要領を参照）がある場合は、下記にご記入ください。

第1希望校学校名	●●●中学校	優先事由	
第2希望校学校名	◎◎中学校		

（3を選ばれた方のうち該当する場合の記入要領を参照）

希望校学校名について

- ・通学区域「外」の学校を希望する場合のみ区内市立学校名を記入してください
- ・通学区域の学校や、私立国立等の学校名は記入不要です

優先事由に該当する場合は、「優先事由」欄に(ア)又は(イ)を記入してください
(4ページ 1-5参照)

きょうだい関係	年 組	年 月 日
---------	-----	-------

◆確認事項

- ・新1年生同士（双子等）で同一の学

優先事由(ア)に該当するきょうだいの氏名等を記入してください。

双子等の氏名	
--------	--

- ・特別支援学級への就学を希望される方は、いずれかの数字に○をつけてください。

- 1 中学校・義務教育学校に就学相談をしており、特別支援学級への就学を希望する。
- 2 中学校・義務教育学校に就学相談をしていないが、特別支援学級への就学を希望する。
※ 2に○をつけた方は、至急、通学区域の学校に就学相談をしてください。

- ・下記の学校へ就学する予定（希望）のある方は、該当する数字に○をつけてください。

- 1 現在、支援学校への就学を相談中（相談予定）である。
- 2 私立・国立中学校・選抜を実施する公立中学校を受験する予定がある。

Incoming Junior High School First Grade Students ~Questionnaire Sample~

- To request the public junior high school designated by school district ⇒please circle○ #1 under the ◆Selection Section.
- To request a public junior high school other than the designated school ⇒please circle○ #3 under the ◆Selection Section and indicate the names of schools you wish to attend.
- In the case of taking entrance exams for private or national junior high schools, and not having intention to attend a public junior high school ⇒please circle○ #1 under the ◆Selection Section and circle○ "Student is planning to take entrance exams for private, national, or public junior high schools conducting selection process" at the bottom of the questionnaire.

School Selection System Questionnaire

- After completing the questionnaire, please return it before the deadline in the enclosed envelope to your registered ward office either in person or by post.
- Every incoming student, including those who wish to attend the designated public junior high school, is required to submit the School Selection System Questionnaire.
- If the number of students requesting school selections exceed the limit, a lottery process will take place.
- Excluding cases of moving to another school district, once school selection decision is made, changes to selection, withdrawals from school, or transferring from school after enrollment will not be accepted.

Questionnaire Number	○○○○-○○-○○○○		
Student's Name	○○ ○○	Date of Birth	YYYY/MM/DD
Guardian's Name	○○ ○○		
Address	○○○Ward★Chome★★Number Apt. ○○		
School Based on Selection Standards	○○○Junior High School	Please provide home and daytime phone numbers where we can contact you easily.	
Designated School by School District	○○○Junior High School		

◆Selection Section

Please circle the number that applies to you. For those choosing 3, please fill in

1. I wish to attend the designated school.
2. I wish to attend the junior high school directly affiliated with my current elementary school.
3. I wish to attend a school that is not the designated school, and I wish to attend the schools indicated below.

If there is any reason to prioritize choice of school when the lottery is drawn, please write it down below.

1st Choice	●●● Junior High School	Reason to Prioritize	
2nd Choice	○		
*****	Regarding Choice of School •Only write down the names of municipal schools other than designated school. •Do not write down the names of your designated school, private schools, or		

(If you chose #3 and the

If it corresponds with "Reason to Prioritize", please fill in (page 4, 1-5 Reference).

Sibling's Name	Grade	Class	Date of Birth: YYYY/MM/DD
----------------	-------	-------	---------------------------

◆Items to confirm

- If both children are incoming year one students (e.g. twins) and

If it corresponds with "Reason to Prioritize", please fill in sibling's name.

Name(s) of twin, etc.	
-----------------------	--

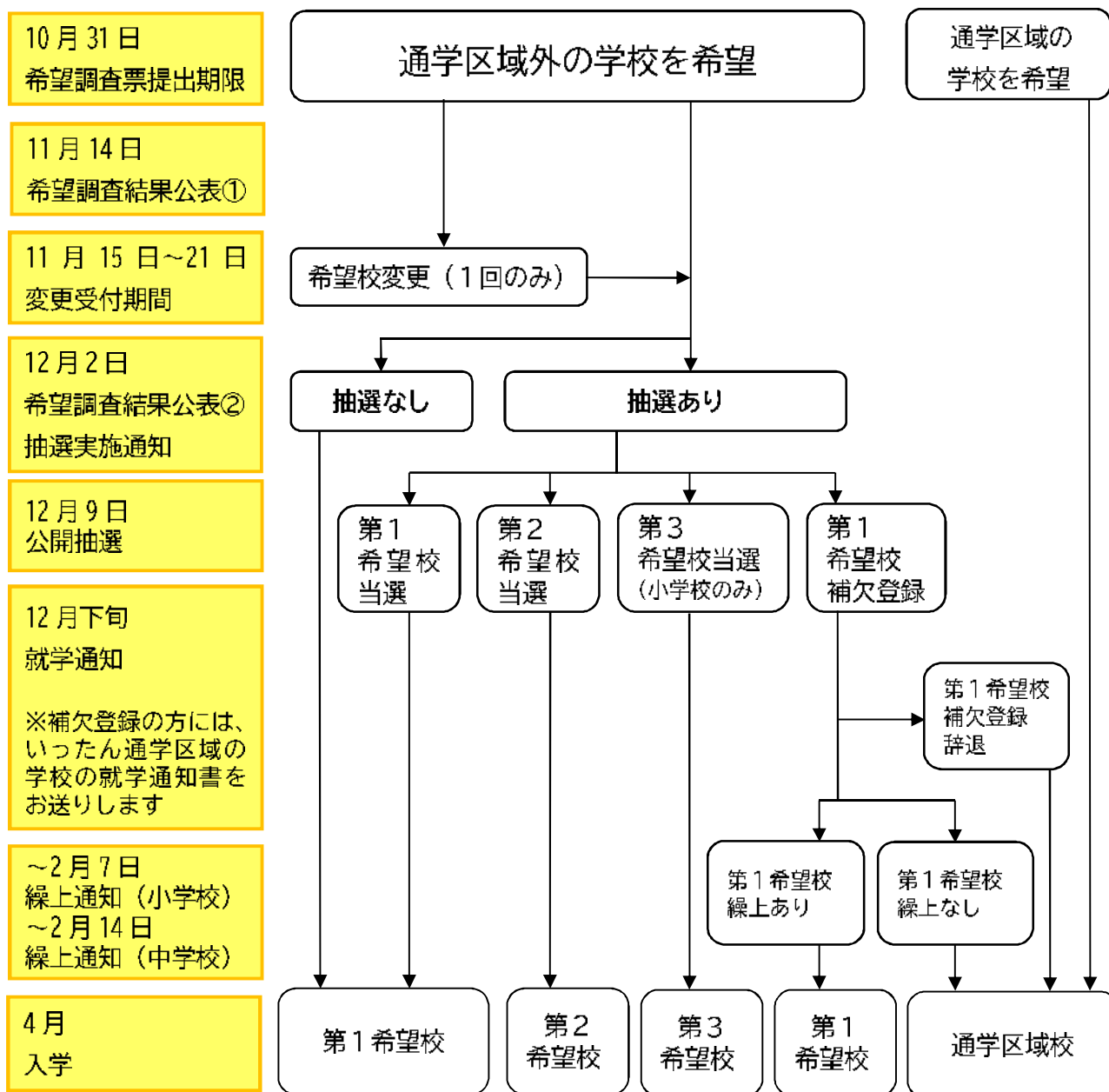
- For those who intend to attend schools that provide special learning support, please circle either of the statements below.

1. Consultation was made with the junior high/compulsory education school, and the intention is for the student to attend a school that offers special learning support.
 2. Consultation has not been made with the junior high/compulsory education school, but the intention is for the student to attend a school that offers special learning support.
- ※ For those who circled #2, please promptly consult with the designated school.

- Please circle all that applies to the student if he or she has decided to (or intends to) attend the following schools.

1. Consultation is ongoing (or consultation will be scheduled) with special needs school.
2. Student is planning to take entrance exams for private, national, or public junior high schools conducting selection process.

—入学までのスケジュール—



就学時健康診断について（新小学校・義務教育学校1年生）

就学時健康診断は、学校保健安全法に基づく健康診断です。就学される前の年の10月から12月にかけて、10月1日現在の居住地を校区とする小学校等の健診会場において実施します。実施日は各健診会場により異なります。

就学時健康診断については、9月下旬以降、「就学時健康診断のお知らせ」が送られてきますので、指定の健診会場で受検してください。「就学時健康診断のお知らせ」の送付時期は各健診会場により異なります。

学校選択制等で、通学区域以外の小学校等を希望される場合でも、健康診断は指定の健診会場で受検し、受検後に渡される「就学時健康診断結果票」を大切に保管し、就学が決定しましたら、就学先の小学校等へご提出ください。

問合せ先 教育委員会事務局指導部保健体育担当（6208－9141）

—小学校・中学校一覧—

(児童数・学級数は令和6年5月1日現在)

学 校 名	児 童 数							学 級 数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	特別支援
玉造小学校	123	120	137	127	104	117	728	4	4	4	4	3	3	22	5
南大江小学校	158	164	181	147	168	123	941	5	5	5	5	5	3	28	7
中大江小学校	96	110	122	121	105	116	670	3	4	4	4	3	3	21	6
高津小学校	25	25	21	22	27	25	145	1	1	1	1	1	1	6	3
南小学校	23	32	27	31	15	34	162	1	1	1	1	1	1	6	3
開平小学校	78	78	70	82	67	52	427	3	3	2	3	2	2	15	6
中央小学校	131	133	152	146	161	164	887	4	4	5	5	5	4	27	9

(生徒数・学級数は令和6年5月1日現在)

学 校 名	生 徒 数				学 級 数				
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	特別支援
東中学校	248	241	245	734	7	6	6	19	5
南中学校	45	58	57	160	1	2	2	5	5
上町中学校	108	126	127	361	3	3	3	9	4

—麻疹・風しん混合(MR)ワクチンの接種について—

麻疹と風しんは、特別な治療法がなく予防接種の効果が高い病気です。免疫を持たない人が患者と接触すると、ほとんどの人が発症すると言われ、確実に予防するためには2回のワクチン接種が必要です。

2回目のワクチン接種は、小学校就学前1年間（年長児：4月1日から翌年3月31日まで）であれば、無料で受けることができます。（この期間以外は任意接種となり、1万円程度の自己負担がかかります。）他のワクチンとの接種間隔に気を付けて、計画的に接種を受けてください。

委託医療機関はこちら▶

大阪市ホームページ「各種予防接種委託医療機関について」

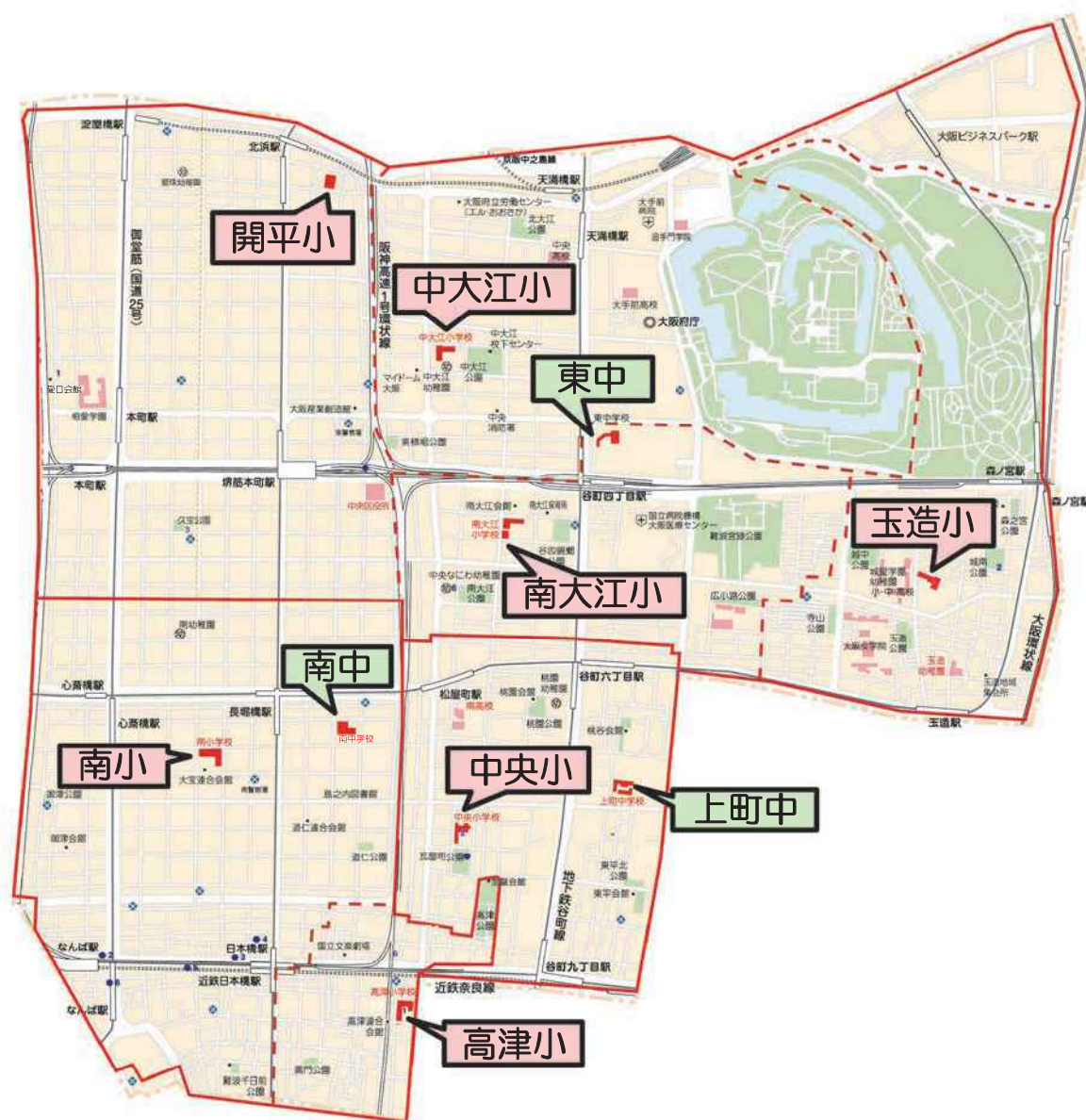


—中央区内の通学区域一覧—

中学校	小学校	通 学 区 域
東 中学校	玉造 小学校	大阪城 3番(1号～12号) 馬場町 1番 森ノ宮中央 1丁目、2丁目 玉造 1丁目、2丁目 法円坂 1丁目2番、3番、4番(1号～5号、21号～24号) 上町 1丁目1番～15番
	南大江 小学校	馬場町 2番、3番 大手前 4丁目 法円坂 1丁目1番、4番(6号～20号)、5番、6番、2丁目 上町 1丁目16番～28番 上町 A番・B番・C番 内久宝寺町 1丁目～4丁目 龍造寺町 谷町 4丁目、5丁目 農人橋 1丁目～3丁目 和泉町 1丁目、2丁目 粉川町 十二軒町 神崎町 材木町 松屋町住吉
	中大江 小学校	大阪城 1番、2番、3番(13号～30号) 城見 1丁目、2丁目 大手前 1丁目～3丁目 谷町 1丁目～3丁目 天満橋京町 北浜東 石町 1丁目、2丁目 島町 1丁目、2丁目 釣鐘町 1丁目、2丁目 船越町 1丁目、2丁目 内平野町 1丁目～3丁目 内淡路町 1丁目～3丁目 大手通 1丁目～3丁目 糸屋町 1丁目、2丁目 北新町 南新町 1丁目、2丁目 徳井町 1丁目、2丁目 内本町 1丁目、2丁目 鎗屋町 1丁目、2丁目 常盤町 1丁目、2丁目 東高麗橋 本町橋
	開平 小学校	北浜 1丁目～4丁目 今橋 1丁目～4丁目 高麗橋 1丁目～4丁目 伏見町 1丁目～4丁目 道修町 1丁目～4丁目 平野町 1丁目～4丁目 淡路町 1丁目～4丁目 瓦町 1丁目～4丁目 備後町 1丁目～4丁目 安土町 1丁目～3丁目 本町 1丁目～4丁目 南本町 1丁目～4丁目 船場中央 1丁目～4丁目 久太郎町 1丁目～4丁目 北久宝寺町 1丁目～4丁目 南久宝寺町 1丁目～4丁目 博労町 1丁目～4丁目

中学校	小学校	通 学 区 域
南 中学校	高津 小学校	高津 1丁目1番、2番(1号～3号、13号～32号)、3番、4番、6番(6号～10号)、7番～9番、10番(3号～17号)、2丁目1番(5号～23号、24号の一部)、2番～8番、3丁目 道頓堀 1丁目東1番～東4番、東5番(2号～8号、9号の一部)、東6番、東7番(7号の一部、9号) 日本橋 1丁目6番(1号～3号、10号～12号)、7番(1号～6号、7号の一部、17号～20号)8番(1号～9号、22号～24号)9番～17番、21番～25番、2丁目1番～4番、8番～21番
	南 小学校	東心齋橋 1丁目、2丁目 宗右衛門町 心齋橋筋 1丁目、2丁目 西心齋橋 1丁目、2丁目 島之内 1丁目、2丁目 南船場 1丁目～4丁目 道頓堀 1丁目1番～10番、東5番(9号の一部、10号～26号)東7番(1号～3号、7号の一部、10号～26号)2丁目 難波 1丁目～5丁目 難波千日前 千日前 1丁目、2丁目 日本橋 1丁目1番～5番、6番(4号～9号)7番(7号の一部、8号～16号)8番(10号～21号)10番～20番、2丁目5番～7番
	上町 中学校	安堂寺町1丁目、2丁目 上本町西1丁目～5丁目 谷町6丁目～9丁目 松屋町1番～10番 東平1丁目、2丁目 上汐1丁目、2丁目 瓦屋町1丁目～3丁目 中寺1丁目、2丁目 高津1丁目2番(4号～12号)、5番、6番(1号～5号、11号～18号)、10番(1号、2号、18号～22号)、2丁目1番(1号～4号、24号の一部、25号、26号)

—通学区域略図—



中学校	小学校
東中学校	玉造小学校
	南大江小学校
	中大江小学校
	開平小学校
南中学校	高津小学校
	南小学校
上町中学校	中央小学校

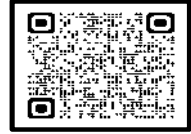
実線…小学校・中学校の通学区域区分
点線…小学校の通学区域区分

－ 各学校の受入人数、学校公開日・学校説明会の日程 －

学校選択制に関する説明会や学校公開日の一覧です（希望者のみ）。学校選択の際の参考にしてください。
入学予定者の方向けの学校説明会は、令和7年1月～2月ごろに開催予定です。
学校説明会に参加される場合は、この冊子をご持参ください。

（注意）

諸事情により、開催直前に中止や変更になる場合もあります。区役所や各学校のホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報をご確認のうえご参加ください。
中央区ホームページには、各学校ホームページへのリンクも掲載しております。



学校名	通学区域外からの受入人数（目安）	学校公開日	学校説明会	備考
玉造小学校	若干名	9月28日（土曜日）9時～12時（体育授業参観） 【10月1日（火曜日）9時～12時（体育授業参観）予備日】	9月2日（月曜日） 14時15分～14時45分	上履きをご持参ください。自転車での来校はご遠慮ください。学校説明会後、学校見学が可能です。変更が生じた場合、学校ホームページでお知らせします。
南大江小学校	若干名	10月4日（金曜日）13時50分～14時35分（授業公開）	10月4日（金曜日） 14時45分～15時30分	学校公開・説明会には自転車での来校はご遠慮ください。また、上履きをご持参ください。変更が生じた場合、学校ホームページでお知らせします。
中大江小学校	若干名	9月11日（水曜日）13時40分～14時25分（2・4・6年生学習参観） 9月18日（水曜日）13時40分～14時25分（1・3・5年生学習参観）	9月18日（水曜日） 14時40分～15時30分	上履きと靴を入れる袋をご持参ください。自転車での来校はご遠慮ください。
高津小学校	若干名	9月2日（月曜日）10時45分～11時30分（1年授業公開） 9月29日（日曜日）9時～11時（運動会） 【10月1日（火曜日）9時～11時（運動会）予備日】	9月2日（月曜日） 10時15分～10時45分	学校説明会・1年授業公開には上履きをご持参ください。自転車での来校はご遠慮ください。変更が生じた場合、学校ホームページでお知らせします。
南小学校	若干名	9月4日（水曜日）9時～10時30分（オープンスクール） 10月6日（日曜日）9時～12時（運動会） 【10月9日（水曜日）9時～12時（運動会）予備日】	9月4日（水曜日） 9時～10時30分	学校公開日・学校説明会は自転車での来校はご遠慮ください。
開平小学校	若干名	10月23日（水曜日）13時50分～14時35分（学習参観）	10月23日（水曜日） 14時45分～15時05分	上履きをご持参ください。学校公開日・学校説明会は自転車での来校はご遠慮ください。
中央小学校	若干名	9月25日（水曜日）13時40分～14時25分（授業公開） 10月19日（土曜日）9時～12時（体育学習発表会） 【10月22日（火曜日）9時～12時（体育学習発表会）予備日】	9月25日（水曜日） 14時30分～15時	自転車での来校はご遠慮ください。変更が生じた場合、学校ホームページでお知らせします。
東中学校	若干名	9月13日（金曜日）10時～15時（体育大会） 9月17日（火曜日）13時30分～14時20分（授業参観） ※両日とも事前申し込みが必要	9月17日（火曜日） 14時30分～15時 ※事前申し込みが必要	体育大会はAsueアリーナ大阪で実施します（事前申込が必要）。詳しくは学校ホームページをご覧ください。参観日は学校選択制希望者のみとします。
南中学校	若干名	9月6日（金曜日）13時25分～14時15分（授業公開） 9月27日（金曜日）13時25分～15時15分（合唱コンクール）	9月6日（金曜日） 14時30分～15時	
上町中学校	若干名	9月10日（火曜日）13時25分～15時15分（授業公開） 9月20日（金曜日）13時25分～14時15分（授業公開）	9月20日（金曜日） 14時30分～15時15分	

<通学区域外からの受入人数について>

- ・私立学校等への進学や、通学区域内の児童生徒の転出入により、受入人数は大きく変動する可能性があります。
- ・通学区域内の入学対象者数が多い学校は、通学区域外からの受入人数が0となる場合もあります。

<学校公開・学校説明会について>

- ・参加を希望される場合で、日程の都合がつかないときは、各学校に直接連絡をしてください。

大阪市の就学・進学相談 ～ 障がいのあるお子様のよりよい就学・進学に向けて ～

大阪市教育局

【基本的な考え方】

- 大阪市では、障がいのある子どもの人権尊重を図り、地域で「共に学び、共に育ち、共に生きる」ことを基本とした教育・保育の推進に努めており、地域の小学校・中学校・義務教育学校で学ぶことを基本としています。
- 障がいのある子どもの進学先を決める際には、本人・保護者の意向を最大限尊重しています。
- 通学区域の小学校・義務教育学校前期課程（進学の場合は在籍している学校）がすべての就学・進学相談の窓口となり、相談や情報提供を行います。
- お子様を学校教育全体で受けとめ、障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行います。

【障がいのある児童生徒の多様な学びの場】

障がいのあるお子さんの就学・進学先としての学びの場は、小・中学校及び義務教育学校(以後、学校と表記)の通常学級、特別支援学級があります。一部の学校には通級による指導を開設しています。次に、特別支援学校（府立支援学校）があります。

通常学級

お子さんの障がいの状況に応じた合理的配慮を受けながら通常の教育課程に基づく指導を受けることができます。



通級による指導（通常学級在籍）

自校通級：在籍する学校内に通級による指導が開設されており、学習や学校生活で持てる力を発揮できるように、自立活動(自分の力を可能な限り発揮して主体的に取り組もうとする力や態度を育てる学び)を受けることができます。今後、各区において順次、全校に開設していきます。

他校通級：きこえやことば、学習やコミュニケーション等に課題があるとき、学校の通常学級に在籍しながら、週に1回程度近隣の通級による指導の開設校に通い、課題に応じて必要な指導を受けることができます。他校から通級できる学校は次のとおりです。(柏里小・十三小・西淡路小・菅北小・上福島小・成育小・森之宮小・南小・九条東小・長居小・玉出小・北鶴橋小・金塚小・田辺小・喜連西小・東中・西中)

特別支援学級

お子さんの障がいの状況や医学的診断等をふまえ、教育的ニーズに応じた指導を受けることができます。また、通常学級のお子さんとも交流し、共に学ぶ授業や活動を行っています。大阪市の学校には特別支援学級が全校に設置されていますので、特別支援学級の内容等については、各学校にお問い合わせください。



Q: 就学相談はいつからできますか？

A: 就学する前年の4月頃からできます。それ以前でも、希望があれば相談できます。できるだけ早い時期から通学区域の小学校・義務教育学校(前期課程)にて就学相談を行ってください。

Q: 就学相談時に持って行くものはありますか？

A: お子様の障がいの状況がわかるような、参考となる資料がございましたらお持ちください。
【参考】「就学支援シート」「サポートブック」などをご活用いただくこともできます。
・(就学支援シート) <https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000545291.html>
・(サポートブック) <https://www.elmosaka.org/support-book.html>



就学支援シート



サポートブック



Q: 障がいが高くても、地域の学校で学ぶことができますか？

A: 大阪市では、障がいの程度に関係なく、地域の小学校・中学校・義務教育学校で、「共に学び、共に育ち、共に生きる」教育を進めています。就学先を決める際には、本人や保護者の方の意向を尊重しています。



特別支援学校（府立支援学校）一覧 大阪市内を通学区域を含む特別支援学校（府立支援学校）

学校名	種別	設置学部	所在地	備考
大阪北視覚支援学校	視覚障がい	幼小中高専	東淀川区	※1
大阪南視覚支援学校	視覚障がい	幼小中高専	住吉区	※1
中央聴覚支援学校	聴覚障がい	幼小中高専	中央区	※2
生野聴覚支援学校	聴覚障がい	幼小中	生野区	※2
堺聴覚支援学校	聴覚障がい	幼小中	堺市北区	※2
出来島支援学校校	知的障がい	小中高	西淀川区	
思育支援学校	知的障がい	小中高	旭区	
難波支援学校	知的障がい	小中高	浪速区	
生野支援学校	知的障がい	小中高	生野区	
東淀川支援学校	知的障がい	小中高	東淀川区	
住之江支援学校	知的障がい	小中高	住之江区	
光陽支援学校	肢体不自由 病弱	小中高 小中	旭区	
西淀川支援学校	肢体不自由	小中高	西淀川区	
平野支援学校	肢体不自由	小中高	平野区	
東住吉支援学校	知的障がい 肢体不自由	小中高 小中高	東住吉区	

各特別支援学校（府立支援学校）には通学区域が設定されています。また、一覧表のほか、知的障がいのある生徒が就労を通じて自立することを支援する高等部単独の支援学校として、高等支援学校（なにわ、たまがわ、とりかい、すながわ、むらの）があります。

※1 通級による指導に準じた取組を行っています。

※2 難聴または言語の通級による指導を開設しています。

【就学・進学に関する相談について】

就学・進学に関する相談や情報の提供については、通学区域の学校で行っておりますので、来年度就学・進学するお子さんの保護者の方で、相談がまだお済みでない方は、通学区域の学校へ、まずご連絡ください。特別支援学校（府立支援学校）への就学・進学をお考えの場合も、通学区域または在籍している小学校・義務教育学校へご相談ください。通学区域または在籍している小学校・義務教育学校が窓口となって、特別支援学校（府立支援学校）の学校見学、教育相談の依頼

を行います。学校選択制を利用して、通学区域以外の学校へ就学・進学を希望する場合も、新小学校1年生の方は、通学区域の小学校・義務教育学校に、新中学校1年生の方は、現在、在籍している小学校・義務教育学校にまずはご相談ください。その後、希望される学校に連絡し、ご相談ください。

【小・中学校及び義務教育学校、特別支援学校（府立支援学校）への就学・進学相談の窓口】

通学区域または在籍の小学校・義務教育学校

【学校での生活や就学・進学に関する相談】

大阪市教育委員会指導部インクルーシブ教育推進担当 TEL 6327-1016

※ 教育委員会 HP（障がいのあるお子さんの就学・進学相談）



【入学までの流れ】

- 4月～ 【学校見学、就学・進学相談の実施】
 ○通学区域の小学校・義務教育学校（進学の場合は在籍している学校）に連絡して、できるだけ早く就学・進学相談を行ってください。
 ○学校の教育方針や教育環境についての説明、学習の様子や学校行事等を見学してください。
 ○特別支援学校（府立支援学校）の学校見学、就学・進学相談を希望の場合は、小学校・義務教育学校に（進学の場合は在籍している学校）申し込んでください。
- 10月末 ○学校選択制の希望調査票提出期限。（希望調査票は9月初旬までに配付）
- 11月頃まで 【就学・進学先の決定】
 ○「通常学級（通級による指導）で学ぶ」「特別支援学級で学ぶ」「特別支援学校（府立支援学校）に就学・進学する」等、就学・進学先のご希望について、ご相談された小学校・義務教育学校にお伝えください。
- 10月～ 【就学時健康診断の実施】（※小学校・義務教育学校への就学の場合）
 12月上旬まで ○小学校・義務教育学校で健康診断を行います。
 ・就学時健康診断では、入学後の学校生活等についてご相談いただくことができます。
- 1月末までに 【就学通知書の受け取り】
 ○就学通知書とともに、入学説明会の案内等が、ご家庭に届きます。
- 2月～3月 【入学説明会】
 4月 【入学式】

小中一貫校 児童生徒の全市募集について

9年間で未来につながる学力を！

充実した学び

小・中学校教員の協働した指導 行事等における小・中学生の異学年交流

伸ばすチャレンジ精神

漢字や英語等の各種検定参加 小学生からの部活動参加 等

詳細な学校案内をご希望の場合は、9月以降に通学区域の小・中・義務教育学校、各区役所にて配架するパンフレットをご覧ください。
また、学校公開・学校説明会でもお渡しすることができます。

学校名	対 象	学校公開日 ※保護者のみ見学可	学校説明会(授業公開含む) ※児童も見学可 ※保護者同伴に限る
やたなか小中一貫校 (矢田小学校・矢田南中学校) 〒546 0023 東住吉区矢田3 4 27 TEL 06-6698-1521 	大阪市在住 で、令和7年度 に小学校1年 生、義務教育 学校1年生、 中学校1年 生、義務教育 学校7年生に なる児童	9月13日(金)	9月13日(金)
		10:35～11:20 ※見学については、電話にて事前にご相談ください。	(授業公開) 10:35～11:20 (学校説明会) 11:30～12:00
小中一貫校 むくのき学園 (啓発小学校・中島中学校) 〒533 0033 東淀川区東中島4 0 30 TEL 06 6322 0120(小学校) TEL 06 6322 0333(中学校) 		9月6日(金)	(授業公開) 13:45～14:35 (学校説明会) 14:45～15:30 ※部活動の見学ができます。 【追加日程】9/9(月)～9/13(金)の期間 学校説明会を随時開催 ※電話で事前に申込みしてください。
いまみや小中一貫校 (新今宮小学校・今宮中学校) 〒557 0016 西成区花園北1 0 32 TEL 06 6631 2011(小学校) TEL 06 6631 2711(中学校) 		9月5日(木) 6日(金)	9月7日(土)
		【9/5】 9:45～11:35 【9/6】 13:55～16:50 ※6日(金)は部活動の見学ができます。	(授業公開) 9:40～11:20 (学校説明会) 11:30～12:15 ※参加を希望される場合は、事前に電話連絡をお願いします。
咲洲みなみ小中一貫校 (南港みなみ小学校・南港南中学校) 〒559 0033 住之江区南港中3 5 14 TEL 06 6614 0020(小学校) TEL 06 6614 0600(中学校) 		9月4日(水) 9月5日(木)	9月7日(土)
		【9/4】9:00～12:40 【9/5】14:00～16:30 ※5日(木)は部活動の見学ができます。	(授業公開) 9:50～11:30 (学校説明会) 11:00～12:00 ※授業体験・部活動体験を申し込むことができます。
日本橋小中一貫校 (浪速小学校・日本橋中学校) 〒556 0004 浪速区日本橋西1 7 6 TEL 06 6632 7046(小学校) TEL 06 6633 3751(中学校) 		9月11日(水) 9月12日(木)	9月12日(木)
		【9/11】9:45 ～ 11:35 【9/12】13:35 ～ 15:25 ※12日(木)は部活動の見学ができます。	(授業公開) 13:35～15:25 (学校説明会) 15:30～16:00 ※説明会後に部活動の見学ができます。
中之島小中一貫校 (中之島小学校・中之島中学校) 〒530-0005 北区中之島6-1-53 TEL 06 6441 0360 		9月5日(木)、6日(金)	9月6日(金)
		【9/5】9:40～11:35 【9/6】13:45～15:35 ※学校ホームページに掲載している入校証に必要事項を記載の上、当日持ってきてください。	(授業公開) 13:45～15:35 (学校説明会) 15:45～16:30 ※学校ホームページに掲載している入校証に必要事項を記載の上、当日持ってきてください。

学校公開・学校説明会の日程につきましては、都合により変更する場合があります。詳しくは学校のホームページをご覧ください。

問合せ先 大阪市教育委員会事務局 総務部 学事課 TEL 06 6208 9114

※学校公開・学校説明会の内容等詳細につきましては、各学校まで直接お問い合わせください。

児童いきいき放課後事業について

概要	市内の市立小学校において、平日の放課後、土曜日・長期休業日などに小学生の健全育成を図るため、遊びやスポーツ、主体的な学習などを活動内容とする「児童いきいき放課後事業」(愛称:「いきいき」活動)を実施しています。 「いきいき」活動は、大阪市から運営・管理委託を受けた団体が実施校ごとに設置されている「いきいき活動運営委員会」と連携して地域の実情に合わせて運営しています。
活動日 時間	・月曜日～金曜日:授業終了後～18時 ・始業式、終業式等:11時～18時 ・土曜日、長期休業日:8時30分～18時 ※有料で長期休業日の8時から8時30分まで、平日・長期休業日の18時から19時まで活動時間延長等を実施します。 活動休止日は日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、学校施設の工事や停電などにより安全に活動ができない日など。
参加料	参加料は無料です。ただし児童の安全管理にかかる経費(令和6年度は児童1人あたり500円(年額))が必要です。 ※活動時間延長は有料です。

	電話番号	運営・管理団体
玉造小学校「いきいき」	06-6941-9836	一般財団法人大阪教育文化振興財団 電話番号 06-6253-6217
南大江小学校「いきいき」	06-6942-9341	
中大江小学校「いきいき」	06-6944-4709	
高津小学校「いきいき」	06-6647-6873	
南小学校「いきいき」	06-6252-6800	
開平小学校「いきいき」	06-6203-4639	
中央小学校「いきいき」	06-6761-0483	

※ 上記は令和6年度の連絡先です。令和7年度の運営・管理団体については現時点では未定です。

— 参 考 資 料 —

小学校 令和5年度「全国学力・学習状況調査」 平均正答率（％）

	国語	算数
大阪市	67	62
全 国	67.2	62.5

小学校 令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

小学校5年男子・小学校5年女子 平均値

		種目別平均								
		握力 k g	上体起 こし 回数	長座体 前屈 c m	反復横 とび 回数	20 m シャ トル ラン 回数	50 m 走 秒	立 ち 幅 跳 び c m	ボール 投げ m	体力 合計点 (80 点 満点)
男子	大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
	全 国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
	全 国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

中学校 令和5年度「全国学力・学習状況調査」 平均正答率（％）

	国語	数学
大阪市	67	49
全 国	69.8	51.0

中学校 令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

中学校2年男子・中学校2年女子 平均値

		種目別平均									
		握力 k g	上体起 こし 回数	長座体 前屈 c m	反復横 とび 回数	持久走 秒	20 m シャ トル ラン 回数	50m 走 秒	立 ち 幅 跳 び c m	ボール 投げ m	体力 合計点 (80 点 満点)
男子	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	417.51	79.05	8.05	194.78	19.88	40.79
	全 国	29.02	25.82	44.16	51.22	409.02	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
女子	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	313.19	52.11	9.03	165.29	12.10	46.99
	全 国	23.15	21.62	46.27	45.65	306.26	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22



玉造小学校

■ 所在地 中央区玉造 2 丁目 3 番 43 号
 ■ 電話番号 06-6941-1012
 ■ FAX 06-6941-0187
 ■ 校長名 森石 泰生
 ■ 標準服 有(男・女、夏服・冬服) ■ 集团登校 有
 ■ I/P アドレス
<https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551120>



学校の概要

本校は、明治6年(1873年)に創立された歴史と伝統のある学校です。校訓は「自律・協同・敬愛」。

長年、一人一人の児童の確かな学力、健やかな体の育成とともに、道徳的実践力・規範意識の向上をめざして組織的な取組を展開しています。近年は、特に「主体的・対話的で深い学び」を通して、自ら課題を解決し活動できる児童の育成に力を入れています。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

玉造小	国語	算数
平均正答率	78	73

【概要】

国語の平均正答率は78.0ポイントで全国平均を10.8ポイント上回った。算数の平均正答率は73.0ポイントで全国平均を10.5ポイント上回った。

止答数の中央値は、国語は全国が10問に対して本校は12問、算数は全国が11問に対して本校は13問という結果であった。

止答数分布グラフの算数においては、五十ではあるが2極化の傾向が見られた。

また国語の平均正答率は13ポイントで全国平均の4.8ポイントより3.5ポイント、算数の平均正答率は1.3ポイントで全国平均の3.4ポイントより2.1ポイント低い結果となった。本校では、今後も引き続き児童の学力向上を図るべく、引き続きICT活用等について、引き続き情報授業を行い積極的かつ有効なICT活用を求めている。

【成果と課題、アクションプラン】

学力向上の基盤ともなる生活習慣や学習習慣を促し、授業の充実にさらに努めながら、学力の確実な向上に努める。今後も、基礎基本の定着のための個別学習の時間を確保しつつ、授業においては個に応じた指導を取り入れた授業を展開することで、子どもの学びに向かう力・判断力・表現力、生きて働く知識・技能を育む。

一方で学力向上改革を契機として、教員が子どもと向き合う時間を増やすことにより、教材研究や指導方法の工夫改善につなげたい。またICT機器の効果的な活用方法等についても、引き続き情報授業を行い積極的かつ有効なICT活用を求めている。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力	1分休憩し	1分休憩後	反復横び	20mSR
男子	19.28	20.79	29.37	40.25	50.02
女子	16.38	19.79	37.41	37.81	38.66
	50m走	立ち回り	ボール投げ	体力合計点	
男子	8.98	159.98	22.27	55.82	
女子	9.35	149.54	14.29	56.28	

【概要】

体力合計点は、本校男子は55.82ポイントであるのに対し、全国平均が52.59ポイント、女子は本校が56.28ポイントであるのに対し、全国平均は54.28ポイントと男女ともに2〜3.23ポイント上回る結果となった。

【成果と課題】

体力合計点をはじめ、ほとんどの項目で全国平均を上回ったが、男女ともに「1分休憩後」「反復横び」が全国平均を下回った。

反復横びについては、本校で継続的に取り組んできた「立ち回り」が、股関節の門下に好影響を与え全国平均との差が縮んできている。長座体前屈については、体育の授業の中でストレッチや、筋力トレーニングなど柔軟性を高める取り組みを継続して行っている。その成果もあり全国平均との差が縮まってきていると考えられる。

運動意欲が高い、児童数が多い等の課題は今後も続くが、取られた環境の中でも、より効果的に児童の体力を高める方法を上りていきたい。

運営に関する計画

令和6年度目標

(1) 安全・安心な教育の推進

学校の年度目標

- ①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。
- ②小学校学力経年調査において、「自分には良いところがあると思う」に肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。

(2) 未来を切り拓く学力・体力の向上

学校の年度目標

- ①小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。
- ②小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

(3) 学びを支える教育環境の充実

学校の年度目標

- ①授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、学校行事でICT活用が適さない日数を除く)
- ②第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間上限に関する基準1を満たす教員の割合を68%以上にする。
- ③小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

Osaka Metro 森ノ宮駅②出口 南西500m



学び合い、支え合い、豊かに育つ玉造の子ども

◇ 確かな学力

実際の社会や生活で生きて働く知識技能を習得し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育成することをめざしています。そのために、全ての学級の授業に、児童が「考えをもち表現する学び」、「話し合う学び」、「めあてをもち、振り返る学び」を取り入れ、「より効果的な個別最適な学びの工夫」「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを進めています。また、学校図書館の環境整備や読書貯金通帳の取組、読書ボランティアによる読み聞かせ等を通して、言語力と情報を選択し取得する力を育てています。



◇ 話し合い活動



教科学習はもとより、地域集会やたてわり班活動など異学年間でも話し合う場面を積極的に取り入れるなど、教育活動の様々な場面で話し合い活動を重視しています。充実した話し合い活動の中で、児童一人一人が自分の考えを表現すると同時に、他者の考えや思いを知り共感することで多角的な見方を身に付けたり、考えを広げ深めたり、よりよい考えを築き上げたりすることをめざしています。このような経験が、道徳心や社会性を育成し、「学びに向かう力」や「人間性の涵養」にもつながります。

◇ なかまづくり

学級・学年のなかまづくりを基盤に、集団登校、縦割り班活動等で学校全体のなかまづくりにも取り組んでいます。児童自らが企画段階から参画して、「縦割り班での集会活動」、「オリエンテーリング（全校遠足）」、「玉っ子まつり」等を実施しています。これらを通して、児童のリーダーシップや責任感、規範意識をさらに伸ばすとともに、互いのよさを認め合う集団を育成しています。



◇ 本物との出会い、地域の方々との出会い



玉造の歴史学習や昔の遊び体験学習、民謡踊りの学習、なにわ伝統野菜「玉造黒門越瓜」の栽培と、能体験そして校区内の公園清掃など、地域の方々をはじめとするゲストティーチャーを多数招いて、本物との出会いや年代を超えたつながりづくりを進めています。また、東警察署と合同の交通安全指導や、地域と合同の防災訓練なども進めています。





南大江小学校

- 所在地 中央区農人橋1丁目3番3号
- 電話番号 06-6942-0501
- FAX 06-6941-0397
- 校長名 植田 隆義
- 標準服 有(男・女、夏服・冬服) ■ 集团登校 無
- HPアドレス <https://swa.city.osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551121>



学校の概要

本校は、東大組第5区小学校(1872年創立 明治5年)・東大組第4区小学校(1873年創立)・東大組第2区小学校(1873年創立)・東大組第3区小学校(1874年創立)の4校が合併し、1885年(明治18年)に南大江小学校と改称され、一昨年創立150周年を迎えた歴史と伝統ある小学校です。子どもたちが安全に楽しく学ぶことのできる学習環境を整え、多様化し激しく変化する社会、一層の国際化が進む社会において、また、未曾有の災害の発生が予想される社会において、「確かな学力」と「豊かな心」をしっかりと身につけ「生き抜く力」を養う教育を提供します。子どもたちが安心して学ぶことのできる教育環境を整え、伝統ある南大江の地域を愛し、誇りに思い、社会や世界に羽ばたいていく子どもたちの育成を進めます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

南大江小	国語	算数
平均正答率(%)	75	72

【概要】

国語科の平均正答率は75%で全国平均を7.8ポイント上回った。標準偏差は全国の2.9に対して本校は2.6と低く、二極分化の傾向が比較的小さいことが見え、好ましい状況にあるといえる。

算数科の平均正答率は72%で全国平均を9.5ポイント上回った。特に正答数16問(正答率100%)の分布割合は全国平均の3.7倍と高い値となっている。

【成果と課題、アクションプラン】

全国学力・学習状況調査の結果から、得点分布のばらつきは比較的小さいといえるが今後は児童の多様性にも留意し、さらに個々の課題に応じた指導を行っていききたい。具体的には専科指導による授業やICT機器を活用した視覚的支援・聴覚的支援、放課後の個別学習の実施、デジタルドリルの活用等により基礎基本となる学力の確実な定着を図っていききたい。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mSR
男子	15.83	18.04	32.36	42.13	40.43
女子	15.51	17.81	39.53	39.80	31.50

	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	9.30	149.13	21.17	51.93
女子	9.52	140.03	13.67	53.88

【概要】

○男女ともに反復横とび、50m走、ソフトボール投げで全国平均を上回る結果となった。また、女子は長座体前屈も全国平均を上回る結果となった。体力合計点は男女ともに全国平均を下回る結果であるが、大阪市平均は上回る結果となっている。

児童質問紙調査「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して肯定的な回答の割合は男子95.7%(全国平均:92.9%)、女子92.0%(全国平均:85.7%)となり、男女ともに全国平均を上回る結果となった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子8.7%(全国平均:9%)、女子11.5%(全国平均:16.3%)となり、男女ともに全国平均より良好な結果となった。生涯スポーツの観点からも運動に親しむメンタリティが大事だと考えており、好ましい結果である。○令和4年度調査では男女ともに全国平均を上回る種目はなかったが、令和5年度は男子で3種目(反復横とび、50m走、ソフトボール投げ)、女子で4種目(長座体前屈、反復横とび、50m走、ソフトボール投げ)について全国平均を上回る結果を得ている。

体育科授業の実施にあたり各々の運動の説明を行い児童に目当てを持たせて授業に取り組ませたり、体育館や運動場など運動環境の整備を行い授業準備や片付けがスムーズに行えるようにし体育時の運動量の確保につとめたり、駆け足週間やなわとび週間などの体育的行事を定期的に設定し運動機会の創出を行ってきた結果の表れと考えられる。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- ・いじめ・不登校や解決すべき問題行動や生活課題の全てについて適切に対応する。
- ・児童と共に定める学級目標の達成に向けて学級全員で協力し活動することで、それぞれの児童が自己肯定感を高め、安心して過ごせる集団づくりを行う。
- ・全教育活動を通して児童が「できた」「わかった」「人の役にたった」と思えるようなめあてを設定し、指導・支援を行う。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・理科や音楽、家庭科など一部の授業での専科指導の実施、デジタルドリルの活用、放課後の個別学習等を計画的に推進する。
- ・体育科の授業で体を動かすことの楽しさをより実感できるように指導内容を工夫する。学級の「みんな遊び」等の時間を設定し、運動場で体を動かす機会を増やす。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・一人一台パソコンを児童がいつでもすぐ活用できる環境を一層整えることで個別最適な学び・協力的な学びを進める。
- ・放課後の時間を確保し、各学年や校務分掌の中で業務の細分化やDX化をすすめ、教職員がよりやりがいを持つようにしながら、勤務時間の短縮を図る。
- ・学校の教育内容を学校ホームページで公開したり、学習参観など教育活動を公開したりすることを通じて積極的に情報発信し、理解・協力を得るようにする。

Osaka Metro 谷町四丁目駅⑧出口 南西 350m
谷町六丁目駅②出口 北西 600m
松屋町駅⑤出口 北東 600m



たくましい子・すすんで学ぶ子・友だちを大切にする子

1 年生の学習の様子

生活科の学習で、春にはアサガオの種をまいたり秋にはチューリップの球根をうえたりして観察しています。

また、冬には体育科の学習でなわとびに取り組みます。休み時間にも熱心に取り組み、色々な跳び方ができるようになります。



遠足（天王寺動物園）

天王寺動物園に遠足に行きます。昨年度も、本物の動物に出会い、子どもたちも大喜びでした。外で食べるお弁当も、嬉しそうに食べていました。

一人一台パソコンの学習

1 年生から一人一台端末を使った簡単な ICT 学習にも取り組んでいます。「ビスケット（ソフト）」を使ったプログラミングにも挑戦します。



学校たんけん

1 年生は広い学校の中を 2 年生と一緒にたんけんします。

いろいろな教室がどこにあってなにをしたらいいのかを学びます。



中大江小学校



- 所在地 中央区糸屋町2丁目3番14号
- 電話番号 06-6942-0221
- F A X 06-6942-0178
- 校長名 菱田 葉子
- 標準服 有(男・女、夏服・冬服) ■ 集团登校 無
- I P アドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551122>



学校の概要

大阪城を校区にもつ歴史と伝統ある地域に本校は位置しています。併設する中大江幼稚園との合同行事や交流学習の推進により、相手の気持ちを考え行動するあたたかな心の育成と、主体的に行動できる子どもの育成を図っています。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

中大江小	国語	算数
平均正答率(%)	72	68

【概要】

平均正答率は、国語72%、算数68%で、どちらも全国平均を約5%上回っています。国語について、学習指導要領の内容別に正答率を見ると、「情報の扱い方に関する事項」が6%、「話すこと・聞くこと」が8%全国を上回っており、その他の内容は、全国と同程度であった。算数について学習指導要領の領域別に正答率を見ると、図形が7.5%、それ以外の領域が5%ほど上回っていた。

児童質問紙の学習意欲に関する項目は、肯定的に回答する割合が全国と比較して高かった。また、自分の考えをまとめたり、振り返りを行ったりしながら、主体的に取り組んでいることがわかった。

【成果と課題】

【国語】漢字についての無回答が多かったことから、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、日常の中で漢字を意識して使用するなど、継続して取り組む必要がある。本校で3年間取り組んでいる「書くこと」については、記述式の問題で正答率が高く、成果が見られた。

【算数】記述式の全体の正答率は、全国・大阪府と比較して高いものの、無回答率が高くなっており、算数に課題のある児童が、記述式の問題を苦手としていることが明らかになった。

【アクションプラン】

学習に課題のある児童が、進んで学習に取り組むことができるように、今後児童が主体となる授業づくりを実施していく。また、日々の授業で学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な内容についての振り返りの家庭学習を継続して実施し、学習の定着を図っていく。

さらに、友だち同士の関わりやつながりをつくりながら、学校に行くのは楽しいと感じることができるよう児童を増やしていく。そうすることで、思いや意見を素直に発表するとともに、友だちの意見を受け入れることができる集団育成を図り、深い学びにつなげていく。

運営に関する計画

現状と課題

○ 学期ごとの「いじめアンケート」で実態を把握し、その都度速やかに聞き取り等の対応をするとともに、子どもに寄り添いながら解決と再発防止に当たってきた。対処的な指導ではなく、自分を大切に、まわりの人を大切にする指導を継続し、学級担任や学年団だけではなく、学校全体としていじめを撲滅する取り組みを続けていく。

○ 昨年度も引き続き、オンライン朝会や、学級活動、帰りの会などで学校のきまりについて振り返る時間を確保したことで、「学校のきまりや規則を守っている」の項目では肯定的な回答をする児童の割合が昨年の84%から89%と増えている。しかしながら、実際にはきまりを守れていない場面を見る機会が多く、児童の意識の改善も引き続き行っていく必要がある。

学校の年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を、83%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.1%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.1%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等に1活用が適さない日数を除く)
- ・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教員の割合を90%以上にする。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【平均値】

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mSR
男子	15.37	18.61	30.33	36.05	49.22
女子	15.22	17.73	35.68	34.63	38.54

5年生	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	9.40	147.95	16.97	50.37
女子	9.71	142.78	11.34	51.75

【概要】

全国・大阪府と比較すると、体力合計点は男女ともに下回っていた。項目の中で特に課題だったのが、投球能力(巧緻性や瞬発力)のソフトボール投げだった。同時に実施した児童質問紙を考察すると、「スポーツをすることは好きですか」の回答状況について、全国・大阪府と比較したときに、男子の「嫌い」と答える児童の割合が倍になっており、女子は肯定的に回答する児童の割合が10%ほど低かった。

【成果と課題、アクションプラン】

近年の児童数増加により校舎を増築したため、狭い運動場を学年で交互に使うという、限られた「空間」を工夫して使用している状況にある。このような中、少しでも児童が運動できる場を確保するために、狭いスペースにバスケットゴールやボールダリリングを備え付けたり、ジャンピングボードを設置したりしてきた。今後は、運動好きの児童を増やすために、体育の授業づくりに学校全体で取り組み、体を動かすことの楽しさや心地よさについて感じることができるようしていく。授業の中では、「めあて」や「振り返り」を意識できるようにするとともに、運動が好きになる3つの門「時間・空間・仲間」の内、特に「仲間」づくりを中心に実践を組み立て、協力的な学びにつなげるようにする。

Osaka Metro 谷町四丁目駅④出口 北西 400m



心身ともにたくましい子どもを育てる ～一人一人が輝く中大江を目指して～

一年間のおもな行事予定

一学期

4月

- 入学式
- 始業式
- 学習参観



4月 入学式

5月

- 春の遠足
- 避難訓練（火災）
- 新体力テスト



5月 春の遠足

6月

- 自然体験学習（6年生）
- 学習参観
- プール開き



6月 自然体験学習（6年生）



6月 プール開き

7月

- 期末個人懇談会
- 終業式
- 自然体験学習（5年生）



7月 自然体験学習（5年生）



10月 中大江スポーツの日

8月

- 始業式
- 発育測定

9月

- 学習参観
- 中大江スポーツの日の日練習開始
- 津波避難訓練

10月

- 中大江スポーツの日
- 就学時健康診断
- 修学旅行（6年生）



10月 修学旅行



11月 全校遠足

11月

- 演劇鑑賞
- 全校遠足

12月

- 期末個人懇談会
- 異年齢交流
- 終業式



1月 防災訓練



2月 卒業遠足

1月

- 始業式
- 防災訓練

2月

- 幼小交流授業
- 卒業遠足
- 学習参観



3月 6年生を祝う会



3月 卒業式

3月

- 6年生を祝う会
- 卒業式
- 修了式

三学期



高津小学校

- 所在地 中央区高津3丁目4番21号
- 電話番号 06-6643-2700
- FAX 06 6643 0390
- 校長名 柿野 久
- 標準服 有(夏・冬) ■ 集団登校 有(1学期のみ)
- IIP アドレス
<https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551129>



学校の概要

国立文楽劇場や高津宮をはじめ、大阪を代表する歴史と世界に誇る文化・伝統のある地域です。その特性を生かし、「子ども文楽」の取り組みや「黒門市場・御蔵跡・豊寿会(老人会)の方々とのふれあい学習」など、特色ある教育活動を推進しています。学力向上をめざす教育活動の他、集会活動・さそい合わせ登校等、異学年交流を通じた人間関係づくり、規則正しい生活や家庭学習の習慣化などにも取り組んでいます。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

「安心・安全な教育環境の実現」のために

- ・児童理解にもとづく学級・学年づくりをすすめるとともに、校内生活指導体制・問題対応体制を整え、「いじめ」を許さない学校をつくる。
- ・学校、地域、保護者の協働により、安全な学校づくりをすすめるとともに、減災教育や防犯・交通安全教育などを通して、命を守るために主体的に行動できる児童を育てる。

「豊かな心の育成」のために

- ・一人一人のよさを認めるとともに、活動のなかで互いのよさに気付かせるよう工夫することによって、思いやりのある、尊重し合える集団づくりをすすめる。
- ・ゲストティーチャーとのふれあいや体験活動を通して、社会に関心をもたせるとともに、伝統ある地域のよさと、それを守り育てるために力を尽くす人々の努力について感じ取らせる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「誰一人取り残さない学力の向上」のために

- ・国語科・算数科の学習内容についての理解を確かにするための工夫を行う。
- ・言語力、言語技術の育成を意識した取組を工夫する。
(「書くこと」の重視、読書環境の充実)

「健やかな体の育成」のために

- ・運動する機会を増やすとともに、体力向上についての児童の意識を高める工夫を行う。
- ・望ましい生活リズムが確立できるよう支援や指導を行う。

【学びを支える教育環境の充実】

「教育DXの推進」のために

- ・ICT機器を活用し、情報活用能力を高める授業実践をすすめる。

「人材の確保・育成としなやかな組織づくり」のために

- ・教職員が働きやすい環境づくりに努める。
- ・教職員の勤務時間外労働時間を前年度より減少させる。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果

- ◇ 国語科では、目的に応じて、文章と図表等結び付けるなど必要な情報を見つけることや、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることに関してよく理解できていた。しかし、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することについて課題が見られた。
- ◇ 算数科では、一の位が0の二つの2位数について、正しく乗法の計算をすること、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することについてよく理解できていた。しかし、(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考慮することや百分率で表された割合について理解すること、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることにについては課題が見られた。
- ◇ 「自分には、よいところがある」について、肯定的回答が全国平均に比べ、高かった。

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果

- ◇ 男女ともに、多くの種目について全国平均を上回っていた。体育の授業について「楽しい・やや楽しい」の回答率は男女とも全国平均を上回った。

* 全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等の調査については、調査対象学年が単学級のため、数値による公表は行っておりません。

Osaka Metro 日本橋駅⑧出口 東 300m
谷町九丁目駅③出口 西 400m





児童集会（たてわり班活動）



異学年交流



全校オリエンテーリング



【個を高め、つながりを強める取組】



豊寿会（ほうじゅかい）の方々とのふれあい学習



御蔵跡（おくらと）の方々によるお話



黒門市場でのお店体験



【地域と連携したふれあい学習】

「笑顔・全力・高津っ子！」
～学び合い、支え合い、共に高め合う子どもを育てる～
（一人一人を大切にした教育活動をすすめています。）

【「子ども文楽」の取組】



文楽伝達式
（6年生から5年生に引き継がれます。）



学習発表会
「二人三番叟」「五条橋」
（国立文楽劇場 技芸員の先生方のご指導を受けています。）





南小学校

- 所在地 中央区東心斎橋 1 丁目 14 番 29 号
- 電話番号 06-6252-6825
- FAX 06 6252 6871
- 校長名 池田 勝一郎
- 標準服 有(夏服・冬服) ■ 集団登校 無
- I/P アドレス
https://swa.city.osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551131



学校の概要

本校は日本を代表する繁華街、大阪ミナミの中心にあります。校区には、千日前、道頓堀、戎橋、心斎橋筋商店街、若者が集うアメリカ村など「大阪」があふれた場所が多くあります。たくさんの国や地域と関係の深い子どもたちが通う国際色豊かな学校です。本校を巣立った子どもたちが、学んだことを生かし、自分たちの生まれ育った歴史と伝統のあるミナミを誇ることができ、自分と関係の深い国や地域が大切と思える教育をめざして取り組みを行っています。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」での肯定回答を100%にする。
- 児童アンケート「学校のきまりを守れていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

学校園の年度目標

- 「いじめ・差別や偏見のない安全・安心な学校づくり」
 - 児童アンケートを通して目標達成度を検証する。
 - ・「困っている人や悩んでいる人に声をかけている。」
 - ・「友だち一人ひとりのちがいを大切にしている。」
 - ・「学校のきまりを守れていますか。」
- ※いずれも肯定回答80%以上

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- 大阪市小学校学力経年調査からの目標
- ・「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」での肯定回答を40%以上にする。
- ・国語・算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・「理科の勉強は好きですか」での肯定回答を88%以上にする。
- ・「外国語の勉強は好きですか」での肯定回答を90%以上にする。
- ・「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」での「好き」を90%以上にする。

学校園の年度目標

- 「Society5.0で生き抜く力の育成」
- 児童に将来バイリンガルとなる素地を形成する。
- ・対象児童全員に何らかの母語形成の場を保障する。
- ・JSL 評価参照枠での「4教科につながる基礎的な学習」に達する児童を80%以上にする。
- 異質な存在どうしの協働意欲を醸成する。
- ・「友だち一人ひとりのちがいを大切にしている。」
- ・「いろいろな国の友だちとよく話したり遊んだりする。」
- ・「国や文化のちがいが友だちどうし知らないことを出し合って、おもしろいことを考えることが好き」※いずれも肯定回答75%以上
- 敏捷性、瞬発力、投てきにおいて、全国差を縮める。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- 一人一台学習者用端末の活用に関して
- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 教職員の働き方改革について
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- 「楽しく充実した学校生活を送るための環境改善」
- すべての機関との連携による児童・家庭への支援の充実を図る。
- ・ケース検討児童・家庭の50%をニーズに合わせた専門家へつなぐ
- 児童の总欲を引き出す教職員集団を築きあげる。
- ・「教職員 Minami スタンド」をすべて実施している教職員を80%以上にする。

※本校は調査対象学年が単学級であるため、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について数値等の公表は行いません。

Osaka Metro
心斎橋駅⑤、⑥出口 東300m
長堀橋駅⑦出口 西200m



歴史と伝統がある国際的なまち、大阪・ミナミが大好き！と思える子ども、
これからのグローバル社会で活躍する確かな学力と豊かな心を育てます。

国際 交流



いろいろな国の文化や習慣に触れる
機会を積極的に取り入れています。
国際交流を大切にし、国際感覚を身
につける活動を重視しています。

体力 向上



楽しみながら体力アップ！
子どもたち自身が企画運営する
「みなみアクティブタイム」
元気な大歓声に包まれます。

対話 学び



「主体的・対話的で深い学び」の視点
を取り入れた ESD(持続可能な開発の
ための教育) の研究を進めています。

児童会 活動



「南子どもまつり」をしています。
異学年で協力して、お店を作った
り、遊んだりします。

たんけん



はっけん

「川たんけん」では、船に乗って街を見学。視点を変えること
で、今まで気付かなかった「大阪ミナミの良さ」を発見します。

伝統 文化



初め での 体験



お琴や和太鼓、茶道といった伝統文化体験や、都会の真ん中に雪を積もらせての雪遊
び、英語活動、昔遊び、商店街探検などの様々な体験学習を大切にしています。



開平小学校

- 所在地 中央区今橋 1 丁目 5 番 7 号
- 電話番号 06-6203-4212
- FAX 06-6203-4404
- 校長名 岩本 由紀
- 標準服 有（男・女、夏服・冬服）
- 集団登校 無
- HP アドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=c551132>



学校の概要

伝統ある愛日小学校・集英小学校の二校が統合されて開校した開平小学校は、今年度創立35周年になります。大阪の歴史と伝統、文化が脈々と息づくこの「船場」唯一の小学校として、両校の教育精神を受け継ぎ、「たくましく・うつくしく・あたらしく・ほこらしく」を開校以来の校訓として、次代を担う子どもの育成に取り組んでいます。

【学校教育目標】

船場に学び、
自らの未来を切り拓く子どもを育成する

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

開平小	国語	算数
平均正答率（％）	71	73

【概要】

国語、算数ともに、大阪市及び全国平均を上回る結果であった。これまでの取組を維持・推進する。

これまで取り組んできた主体的・対話的で深い学びを重視した授業づくりをより一層重視し、友だちと学び合いながら、主体的に学びに向かう子どもの育成に努め、学力の向上につなげていく。

ICTを活用しながら、正しい情報や必要な情報を適切に見つけ出したり、情報を相互に関連させて考えたりする機会を、教科横断的に積極的に取り入れ、情報活用能力を高めていく。また、情報を他者に分かりやすくまとめ、その考えを伝える力の育成に取り組む。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【概要】

実施した7種目のうち、男子は、すべての種目において大阪市及び全国平均を上回った。一方女子は、「立ち幅とび」で大阪市平均を上回り、「反復横とび」と「20mシャトルラン」で大阪市平均とほぼ同等となったが、その他の種目については、平均を下回った。

体育学習、体育的行事を工夫し、児童の運動する意欲を喚起することで、体力運動能力の向上につなげていく。

全国体力・運動能力、運動習慣等の調査については、全調査対象項目実施できないため、数値による公表は行っておりません。

校区内の通学上の安全面の取り組み「開援隊安全班」による見守りを実施しています。

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- ① 「学校のきまり」について、職員全体で共通理解を図り、児童の規範意識を高めるようにする。
- ② 「人との関わり」を扱った資料について重点をおいて指導し、友だちと仲よく助け合ったり、より良い学級や学校をつくらせようとする態度を養う。
- ③ 「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育の推進のために、環境整備を進めるとともに、児童の相互理解につながる活動や取り組みを実践する。
- ④ なかよし班活動のなかよし班清掃、わくわくフェスティバルや全校オリエンテーリング、ありがとう集会において、異学年集団の関わりを大切に活動できるように工夫する。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 船場に学ぶ児童が主体的、対話的で深い学びができるように、各教科・領域、学年の横断的カリキュラムのもと、児童が協力的に学ぶ場を設定した授業を実践する。
- ② 算数科において、児童の実態に応じてクラス内習熟度別少人数指導や分習習熟度別少人数指導などの学習形態も活用して取り組む。発展的な学習内容を充実させるとともに、基礎的・基本的な学習の確実な習得についてもＴＴ（チームティーチング）を活用することで、意欲的に取り組むことができるようにする。
- ③ 開校以来全学年で行っている週1回の英語活動と、大阪府が推進する英語短時間学習を計画的に実施し、英語で積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。
- ④ 校内研修、各教科・領域の指導法、特別支援教育、本校のこれまでの取り組みなどについて、年間を見通した研修計画を立案・推進し、授業改善のための具体的な取り組みを進め、教師力の向上を図る。
- ⑤ 運動好きの児童を育てるために、休み時間の運動遊びの充実を図る。また、第2運動場の計画的な運用や体力向上を目指した体育学習及び体育的行事の工夫を行う。
- ⑥ すこやか週間を毎月設定し、「げんきアップチェックカード」を活用したり、分析したりすることで、全児童が健康的な生活習慣を身に付けることができるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 市が進める学校教育ICT活用事業に沿った実践を計画的に進める。各学年の実態に応じたプログラミング学習の実践を進める。
- ② 開校後の図書班や学校図書館司書と連携し、読書好き子どもたちを育てるための実践を計画的に進める。

Osaka Metro 北浜駅③出口 東



なかまとともに学びあう開平の子

《個に応じた指導》

- 国語、算数において個に応じた指導を徹底します。

《開平らしい教育の推進》

- 「自分が好き」「友だちが好き」「学校が好き」「地域（船場）が好き」…船場の文化や歴史、開平小学校設立の願いなどの学びを通して『開平らしい教育』を推進します。
- 本校が編集した読本「わが町船場 いま・むかし」を教材として学習をします。
- 地域へ出かける学習や外部講師から学ぶ機会を生かし個々の学ぶ意欲を高めます。

《特別支援教育の推進》

- 「共に学び共に育ち共に生きる」を理念に特別支援教育を推進します。

《伝統の英語教育》

- 本校カリキュラムに基づいた全学年での英語活動や市の実施する英語短時間学習を各学年で推進し、児童一人一人が英語に親しみコミュニケーションしようとする意欲や態度を育てます。

《言語力の向上》

- 自ら考え豊かに表現する児童の育成をめざし、調べ活動と読書活動の充実を図ります。
- ・ 開援隊図書班（本校ボランティア）と連携し、学校図書館の積極的活用を推進します。

《伝統の音楽教育》

- 全校音楽朝会で心をつなげて全校合唱に取り組み、全学年で一貫した音楽教育の充実を図ります。



《自他の尊重》

- とともに学ぶ仲間の心を傷つける言葉や差別発言をしない・させない・許さない集団を育てます。
- 互いの違いを認め合い支え合う仲間づくりをめざします。

《伝統の継承》

- 言語環境を整え、礼儀正しい挨拶やていねいな言葉遣いのできる子どもを育てます。
- ・ オアシスの励行…「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません」等、日常において挨拶ができる子どもを育てます。
- ・ 目上の人に対して、適切に敬語を遣うことができる児童を育てます。

《集団育成》

- 伝統の「なかよし班活動」を通して、共に学び互いに支え合うことのできる児童相互の絆づくりに努めます。

《「しん」の強い子》

- 「自分ができることをする」「自分の考えを持ち、伝える力をつける」「自分で選択し、決定する力をつける」を目標にし、自分の行動に責任を持つ子どもの育成をめざします。

《伝統の菜園活動・地域連携》

- ルーフガーデンを中心に様々な草花や野菜を栽培し、仲間と共に活動する楽しさや協力しあう喜びを通して豊かな心を育てます。
- ・ 「開援隊園芸班」との連携をもとに、子ども達と地域の方々と交流します。

《体力の向上・地域連携》

- 第2運動場（南天満公園）を活用し、安全面に配慮し体力・運動能力を向上させる取組を工夫します。
- 生涯スポーツと体力向上をめざし、すべての子どもたちが運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえるような体育指導の工夫・改善を図ります。

《健康教育の推進》

- 望ましい生活習慣の形成に向けて、実践力を高める指導の充実を図るとともに、各家庭と連携して具体的な実践をすすめます。

《食に関する指導の充実》

- 学校給食を中心に食の大切さや楽しさを知り、心身の成長や健康の保持増進のための食に関する指導を推進します。
- 地域や関係機関との連携を一層充実させ、船場ならではの取組を進めます。



「開援隊」とは本校のボランティアの皆様です。安全班・園芸班・図書班・クラブ活動班でご活躍頂いています。

中央小学校

- 所在地 中央区瓦屋町 2 丁目 8 番 4 号
- 電話番号 06-6761-6121
- F A X 06 6765 1748
- 校長名 田中 一郎
- 標準服 有（夏服・冬服）
- 集団登校 有
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.cd.jp/swas/index.php?id=c551133>



【学校の概要】

大阪市立中央小学校は、平成 3 年に桃谷小学校・桃園小学校・東平小学校・金甌小学校という歴史と伝統に輝く 4 小学校が同時に統合されて生まれました。当時、4 校同時統合というのは全国でも初めての出来事でした。「清く 明るく たくましく」育て欲しいという当時の保護者や地域の方々の強い願いを校訓としています。創立以来、子どもを中心に据えた教育を学校・保護者・地域が連携して脈々と取り組んできています。このように中央小教育の伝統を代々引き継いでいくことにより、学校・地域を愛し、我が学校・我が地域に誇りをもてる子どもを育てています。そして、社会状況が厳しくとも、たくましく生きぬく力を身につけ、新しい時代を担う社会人として活躍する人材を育成しています。

令和 5 年度 全国学力・学習状況調査の結果

【平均正答率】

	国語	算数
学校	72	70

【概要】

国語、算数のいずれも、平均正答率は、大阪市平均・全国平均を上回っている。また、平均無解答率も大阪市平均・全国平均を下回っている。

※平均正答率の全国比（平均無解答率の全国比）

国語+4.8（-2.2） 算数+7.5（-0.1）

【成果と課題、アクションプラン】

教職員が中央っ子の活性化のために、常に組織的かつ主体的にさまざまな教育活動に取り組んでいる。今後も、教員研修等を通して、主体的・対話的で深い学びを推進させる授業力向上を進める。また、児童の健やかな心身の成長のために、地域行事の開催案内の配布や児童への参加の呼びかけなどを通して、引き続き、家庭、学校、地域の連携を推進する。

令和 5 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	15.75	17.55	29.42	35.99	49.15	9.39	145.85	21.04	49.44
女子	15.58	17.82	34.53	37.18	39.49	9.41	143.56	13.78	54.41

【概要】

男子は、「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」においては、全国や大阪市平均を上回る結果となった。女子は、「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」で大阪市平均を上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、男子・女子ともに、肯定的な回答の割合が大阪市・全国平均より上回る結果であった。「1 週間の総運動時間が 60 分未満の児童生徒の割合」は、男子は 6.0%、女子は 14.1%と、大阪市・全国と比べて、男子・女子ともに低い割合となってしまう。

【今後に向けて】

怠欲だけでなく運動技能の習得も必要になると考えるため、児童が、日常的に運動に親しみ、さらに運動技能が向上できるよう、日々の学習を大切にしながら、環境整備もきめ進める。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？」に対して最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか？」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていますか？」に対して最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツすることは好きですか？」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が年間授業日の 90%以上にする。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を昨年度以上にする。

Osaka Metro

谷町九丁目駅②④出口 北西 800m

Osaka Metro

谷町六丁目駅④出口 南西 800m



★中央小学校がめざす学校像

「みんなが楽しいと思える 笑顔あふれる学校」をめざして

学校の主人公である子どもたちがもとより、教職員、保護者、地域の方々
学校へのお客さま等、本校に関わるすべての人たちにとって、心地よくすごせ、
楽しいと思える学校であり続けられるよう、全教職員一丸となって取り組みます。

全教職員が
自分の持ち味と
強みをいかして
「ONE-TEAM」で
結束します。



中央なかよし言葉



体育学習発表会



代々引き継がれる
中央レンジャー



わいわい祭り



防災・減災教育



自然体験学習



ごみ0マンデー



ふれあい集会



児童集会



町なかわとび



音楽鑑賞会



修学旅行



卒業遠足



子ども見守り隊



卒業おめでとう集会

東 東中学校

■ 所在地 中央区大手前 4 丁目 1 番 5 号
 ■ 電話番号 06-6941-0195
 ■ F A X 06 6941 0163
 ■ 校長名 高橋 哲也 ■標準服 有（男・女、夏服・冬服）
 ■ I P アドレス <https://swa.city.osaka.cd.jp/swas/index.php?id=j552120>



学校の概要

本校は、昭和 63 年 4 月に旧東中学校と船場中学校が統合し創立。本年で創立 37 年目を迎える。新設された新しい気風と、40 余年の歴史と伝統の中で育った旧東中学校と船場中学校の校風をそれぞれ受け継いだ学校である。生徒の社会規範意識の醸成と学力向上を重点的に取り組んでいる。不登校支援の教室（HER）や全市より通学可能な通級教室（SAR）も設置。

運営に関する計画

本校の年度目標

大阪市教育委員会の中期目標見直しを受けて追加・変更を実施
 ※（ ）は「大阪市教育振興基本計画」内の関連項目

【安全・安心な教育の推進】

- 1 不登校児童生徒の在籍比率を前年度より減少させる。（安心な教育環境の充実）
- 2 「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合（%）を 72%以上にする。【全国学力・学習状況調査】（豊かな心の育成）

ほか、従来の教育目標も含め、合計 21 項目を設定

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 CEFR A1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 77%以上にする。【本市調査（大阪市英語力調査）】（誰一人取り残さない学力の向上）
- 2 体力合計点の対全国比男子 1.00、女子 0.97 以上にする。【全国体力運動能力、運動習慣等調査】（健やかな体の育成）

ほか、従来の教育目標も含め、合計 16 項目を設定

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用 PC を活用した日数が、年間授業日の半数を超える。（ただし、教育委員会が定める学校行事等、ICT 活用が適さない日数を除く）【本市独自調査】（教育 DX の推進）
- 2 教員の勤務時間上限に関する基準（基準 2）を満たす教員の割合（%）を 47%以上にする。【本市独自調査】（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

ほか、従来の教育目標も含め、合計 9 項目を設定

【備考】

- ※ 「基準 2」は、 か月の超過勤務時間が 45 時間以下を指す。
 ※ 今年度も引き続き、「肯定的な回答」のうら、「最もあてはまる」の割合のみを目標値とした。

令和 5 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	歩力	100m走	50m走	100m走	20m走
男子	27.74	27.69	41.21	55.44	81.28
女子	21.63	22.35	42.12	47.94	49.88

	50m走	立ち回り	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	8.22	196.10	1861	40.89
女子	9.29	164.00	1115	45.11

【概要】

男子は、大阪市平均に対して 4 項目で上回り、女子は、大阪市平均に対して 2 項目で上回った。「体力合計点」は、全国平均に対して男子-0.43 ポイントとなり、女子は-2.11 ポイントとなった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いに、肯定的に答える割合が大阪市平均に対して男子+11.4 ポイントとなり、女子は-4.5 ポイントとなった。

【成果と課題】

生徒の主体的な活動を目指し、授業計画や実践に努めてきた。その成果もあり、授業に積極的に参加する環境が整いつつある。しかし、体育（運動）を苦手とする生徒へのアプローチには課題が残っている状況である。様々な生徒が、運動への興味関心を高めることができるよう、ICT 機器も使いながら工夫改善を図っていく。

令和 5 年度 全国学力・学習状況調査の結果

	国語	数学	英語
学校	73	62	54
大阪市	67（-6）	49（-13）	44（-10）
全国	69.8（+3.2）	51.0（-1.1）	45.6（+8.4）

【成果と課題、今後に向けて】（「中学校のあゆみ」より抜粋）
 ＜国語＞ すべての観点で大阪府平均を上回り、昨年度からもポイントは上がっているが、自分の意見を書くことが困難な生徒がまだ少数いるため、チームティーチング授業や習熟度別授業を展開し、きめ細かな支援をしたりすることで、学力の定着を図りたい。また引き続き小テストを行い、基本的な読み書き能力の定着に励み、文章の主旨や自分の意見を書いたりする時間を単元ごとに工夫して作っていく。

＜数学＞ 本校の領域別の平均正答率は、「数と式」の領域では、73.5%、「図形」の領域では、46.8%、「関数」の領域では、59.5%、「データの活用」の領域では、60.6%であり、すべての領域で、府平均・全国平均ともに上回った。観点別、問題形式についても、同様に上回る結果となった。

本校で実施している習熟度別少人数授業では、一人ひとりに目を配りやすくして基礎的・基本的な学力の定着が図れたことが、今回の結果から見て取れる。しかし、全国平均を上回るものの、図形の領域の正答率が 50%を下回っていること、記述式の問題の正答率が辛うじて 50%を上回っている程度であることが課題である。

＜英語＞ 大阪府平均を本校は 9.4 ポイント上回るという結果であったが、さらに実力を伸ばすために、授業内で基礎力をつけるために繰り返し学習ができるよう、今後の授業構成を考える必要がある。特に「書くこと」では、条件英作文や入試問題を意識した英作文に挑戦するなどして、日常的に英語を書く機会を増やすようにしていく。記述問題に対する苦手意識が見受けられるため、英文作成が大きく負担になることのないよう、まずは短い文での解答ができるように授業内での質問を増やし、苦手意識を減らしていくように指導の体制を整える。

今後は自分たちで目標をもって学習を進め、考えを深められる授業にできるよう、授業内容を工夫するとともに、少人数授業やチームティーチングでの授業を活用し、生徒の学力の向上につなげていきたい。

Osaka Metro 谷町四丁目駅②出口 東 20m



卒業後の進路

卒業人数 令和3年度 207人 令和4年度 210人 令和5年度 229人

※過去3年間のすべての進学先を掲載しており、累計人数が10人以上の学校については、その人数を()内に記している。

【公立・国立】

明石工業高等専門学校・旭(10)・芦間・阿倍野・生野・生野支援学校・市岡・今宮・今宮工科・園芸・桜和・大阪教育大学附属平野・大阪ビジネスフロンティア・大阪府立大学工業高等専門学校・大塚・大手前(16)・懐風館・岸和田市立産業・北野・京都市立京都堀川音楽・柴島・工芸・高津(24)・港南造形・咲くやこの花・桜宮・四條畷・清水谷(18)・水都国際・住吉・成城・摂津・泉陽・千里・大正白稜・中央・豊島・天王寺(22)・東京藝術大学音楽学部附属音楽・奈良工業高等専門学校・難波支援学校・西野田工科・寝屋川・農芸・花園・汎愛・阪南・東・東大阪市立日新・東淀工業・布施・布施北・舞鶴工業高等専門学校・三国丘・港(10)・都島工業(13)・桃谷・守口東・八尾・八尾翠翔・山本・夕陽丘(13)・淀川工科

【私立・海外】

青山・旭川大学・飛鳥未来・あべの翔学・育英・ECC学園・上宮(25)・英真学園・N・NIC・S・大阪・大阪偕星学園・大阪学院大学・大阪学芸(16)・大阪華英女学院・大阪国際・大阪金剛インターナショナル・大阪産業大学附属(10)・大阪商業大学・大阪情報コンピュータ高等専修学校・大阪女学院・大阪信愛学院・大阪成蹊女子・大阪スクールオブミュージック高等専修学校・大阪体育大学浪商・大阪つくば開成・大阪電気通信大学・大阪桐蔭・大阪夕陽丘学園(18)・大阪YMCAインターナショナルハイスクール・おおぞら高等学院・大谷・岡山・追手門学院大手前・開明・香ヶ丘リベルテ・Canadianacademy・神山まると高等専門学校・関西創価・関西大学第1・関西大学北陽・関西テレビ電気専門学校・関西学院大阪インターナショナルスクール・関西学院高等部・九州産業大学付属九州産業・近畿大学附属(11)・金蘭会・クラーク高等学院・Crimson Global Academy・建岡学園・四天王寺・自由ヶ丘学園・城南学園・常翔学園(19)・常翔啓光学園・昇陽・星翔・清風・聖隷クリストファー・宣真・相愛・太成学院大学・帝塚山・帝塚山泉ヶ丘・帝塚山学院・天工寺学園・東海大学付属大阪仰星・東海大学付属札幌・東朋学園・東朋高等専修学校・トライ式高等学院・同志社香里・同志社国際・長尾谷・浪速・奈良育英・西大和学園・梅花・初芝立命館・パンタン高等部・阪南大学・東大阪大学敬愛・東山・姫路学院・ヒューマンキャンパス・ヒューマンキャンパスのぞみ・プール学院・箕面自由学園・明浄学院・明星・桃山学院(10)・八洲学園・履正社・龍谷大学付属平安・ルネサンス大阪・YMCA学院

東中学校教育推進の重点

(1)安全・安心な教育の推進

- ①安全・安心な教育環境の実現 … いじめへの対応・不登校への対応等
- ②豊かな心の育成 … 人権・進路学習への講師の招へい・道徳教育の充実等

(2)未来を切り拓く学力・体力の向上

- ①誰一人取り残さない学力の向上… 言語活動・理数・英語教育の強化等 思考力・判断力・表現力・読解力の育成
「主体的・対話的で深い学び」の推進 総合的読解力育成カリキュラムの導入
- ②健やかな体の育成 … 体力・運動能力向上のための取組の推進

(3)学びを支える教育環境の充実

- ①教育DXの推進 … ICTを活用した教育の推進 一人一台端末の効果的な活用
- ②教職員の働き方改革の推進…長時間勤務の解消

(4)『プライド&ジョイ』

- 『ストロング ウィル』 … 東中教職員であることの誇りと喜びを感じ、
- 『No child will be left behind !!』 … 強い意志のもと、チーム東として質の高い教職員集団の確立をめざす

～ 誇りを胸に受け継げ “東” ～

～ 生徒会からのメッセージ ～

中学校では生徒が主体的に取り組むことが増え、楽しいことが多くなります。

例えば、体育大会では体育委員をリーダーとして、体育大会を自分たちで作り、盛りあげていくことをめざしています。今年度もASUEアリーナ大阪（中央体育館）をお借りして、広い室内を目いっぱい使って開催します。本番では実行委員と全校生徒が1つになり、縦割りでの応援合戦や先生方とも対戦する綱引きやリレーなど、毎年笑顔あふれる楽しい体育大会となっています。

他にも、クラスごとに合唱で競い合う合唱コンクールや、学年ごとの球技大会、マラソン大会や百人一首大会など、1年中様々な行事が計画されています。

そして、東中では運動部・文化部合わせて16の部活動があります。それぞれの部活動は部長会議を中心に結束し、今までよりも取組が一層活発になっています。

東中学校は、その他にもたくさんの取組に力を入れています。特にあいさつ活動は、生徒会と部活動を中心に、学校全体のあいさつ力向上をめざして活動しています。

東中で、私たちと一緒に楽しい学校生活をおくりませんか？





南中学校

- 所在地 中央区島之内 1 丁目 10 番 23 号
- 電話番号 06-6271-1456
- F A X 06 6243 4170
- 校長名 藤澤 淳
- 標準服 有（男・女 夏服・冬服、女子合服）
- HP アドレス
<https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j552122>



学校の概要

本校は、昭和22年に創立し、校区ににぎわいあふれる大阪ミナミの商業地区を含み、地域に多くの歴史的遺物や文化的建造物が点在する歴史と伝統のある学校です。本校の教育活動においては、一泊移住を1・2年生合同で実施するなど、上級生が下級生をリードし、アットホームな環境の中、生徒たちがすすくとのおびやかに豊かな心を育てています。学習面では少人数指導やきめ細やかな個に応じた指導に力を入れています。さらに、英語検定の活用など、英語力を伸ばす取り組みも進めているところです。「安全・安心な学校づくり」を土台に、変化の激しい新しい時代を生き抜ける力の育成をめざして、一人ひとりの生徒を大切にする教育を実践している学校です。

運営に関する計画

《 中期目標 》

【安全・安心な教育の推進】

○校内アンケート調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を98%に保つ。

○校内アンケート調査における「あいさつ、服装、頭髪などきちんとできている」に対して、肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を95%に保つ。

○校内アンケート調査における「学校生活は楽しい」の項目に、肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を90%に保つ。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○校内アンケート調査における「授業に集中して、まじめに学習に取り組んだ」に対して、肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を85%に保つ。

○校内アンケート調査で「授業が分かりやすい」の項目に肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を90%に保つ。

○校内アンケート調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の今後4年間の平均値を80%に保つ。

【学びを支える教育環境の充実】

○校内アンケート調査における「ICTを活用した授業展開ができる」に対して、肯定的に回答する教員の今後4年間の平均値を80%以上に保つ。

○校内アンケート調査における「ゆとりをもって業務に取り組むことができる」に対して、肯定的に回答する教員の今後4年間の平均値を80%以上に保つ。

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【平均値】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走
男子	29.02	25.82	44.16	51.22	
女子	23.15	21.62	46.27	45.65	

	20m分回走	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
女子	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22

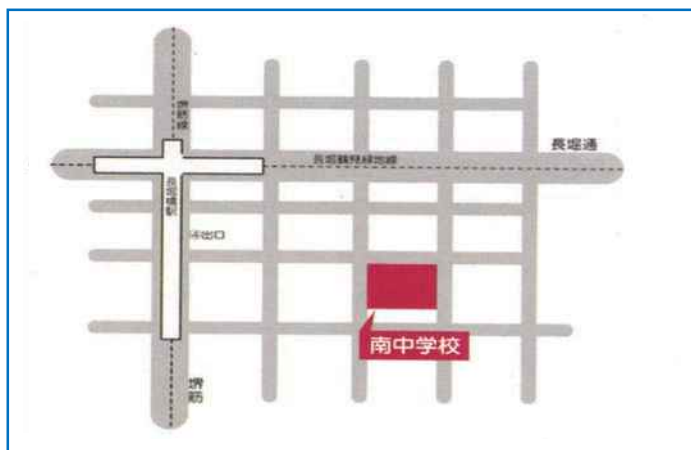
【概要】男子は、長座体前屈・反復横とび・シャトルラン・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げで全国平均を上回った。女子は、反復横とび・シャトルラン・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げで全国平均を上回った。男女ともに、日頃の体育の授業に一生懸命取り組んでいることが、一定の成果となって表れていると考えられる。

【成果と課題】本校では体力合計点が全国・大阪市平均を下回ることが多かったが、令和5年度は上回ることができ成果がでた。継続的なトレーニングとともに、幅広い競技や種目に挑戦することで、楽しみながら運動する生徒の割合を増やしていきたい。また、引き続き、健康的な生活習慣の定着を目指し、自己の体調管理に対する意識を高めていく必要がある。

Osaka Metro 長堀鶴見緑地線・堺筋線
長堀橋駅④出口 東100m

令和5年度全国学力・学習状況調査

	生徒数 (人)	平均正答率(%)		
		国語	数学	英語
南中学校	66	67	49	40
大阪市	—	67	49	44
全国	—	69.8	51.0	45.6



卒業後の主な進路

【卒業人数】令和3年度 46人 令和4年度 53人 令和5年度 66人

【公立高校】

旭(2) / 芦間 / 阿倍野(3) / 生野 / 生野工業 / 泉尾工業(4) / 今宮工科 / 園芸 / 大阪教育センター付属 / 大阪ビジネスフロンティア(3) / 大阪わかば(13) / 大手前(2) / 門真西 / 柴島(4) / 工芸 / 高津 / 港南造形(3) / 桜和・西(3) / 清水谷(2) / 水部国際 / 住吉商業 / 成城 / 成美 / 大正白陵(2) / 中央(3) / 天工寺 / 長吉(6) / 西成(3) / 西野田工科 / 花園(2) / 羽愛(2) / 東(2) / 東住吉総合 / 東淀川(2) / 福井 / 布施北 / 郊島工業(2) / 桃谷(2) / 八尾北(2) / 夕陽丘(3) / 淀商業(7)

【私立高校】

愛知啓成 / あべの翔学 / 上宮 / 大阪 / 大阪信愛学園(2) / 大阪学芸(3) / 大阪葉英女学院 / 大阪産業大学附属(2) / 大阪女学院 / 大阪信愛学院 / 大阪成蹊女子 / 大阪桐蔭(2) / 大阪夕陽丘学園(11) / 大阪緑蔭 / 香ヶ丘リベルテ / 関西大学北陽 / 建国 / 興国 / 好文学園女子 / 向陽台 / 金光藤蔭 / 精華 / 星翔(2) / 宣真 / 天理 / 浪速(3) / 八洲学園 / 阪正社 / ルネサンス大阪(3) / S高 / N高(2)

【支援学校・専修学校】

生野支援学校(2) / 大阪情報コンピューター専門学校 / 大阪スクールオブミュージック専門学校 / 大阪美容専門学校 / 大阪YMCA国際専門学校(3) / 中央聴覚支援学校 / 東明学園高等専修学校(3) / 難波支援学校(2) / 日本芸術高等学園 / 陸上自衛隊高等工科大学 / YMCA学院高等学校

一人ひとりが輝きをもてる学校づくり

■■ 一泊移住 ■■ 《第1・2学年合同》

本校ならではの1・2年生合同の宿泊行事です。2年生は責任あるリーダーとして、1年生のために一生懸命取り組み、また、1年生も集団生活のルールを学び、中学生としての自覚を持つようになります。学年を越えて協力することが、お互いを思いやることのできるよりよい集団づくりにつながっています。



■■ 修学旅行 ■■ 《第3学年》

川でのラフティングなど、豊かな大自然の中、普段は味わえない体験活動を行いました。また、四国での民泊は、人のつながりや感謝することの大切さを改めて実感しました。最終日には班別で散策を行うなど、生徒が日頃の成果を発揮し、自ら考え、行動できた3日間でした。

■■ 体育大会 ■■ 《全学年》

生徒会役員が中心となって企画運営する生徒会種目や各学年の個性や持ち味を活かした学年種目・学年演技など、見ている保護者や地域の方々にも楽しんでいただけます。毎年内容は変わっても、一生懸命に取り組む姿勢はしっかりと受け継がれています。



■■ 合唱コンクール ■■ 《全学年》

平成30年度から始まった合唱コンクール。審査員が頭を悩ませるほど、すべてのクラスがすばらしいハーモニーを披露してくれます。南中学校の新しい伝統として、すでに定着しています。体育大会とともに、保護者や地域の方々にもぜひ見に来ていただきたい行事です。



上町中学校

■ 所在地 中央区上本町西3丁目2番30号
 ■ 電話番号 06-6762-6556
 ■ FAX 06-6765-3169
 ■ 校長名 松井 信次
 ■ 標準服 有(夏服・冬服)
 ■ HPアドレス <https://swa.city.osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j552123>

なんかいい感じの上町中



運営に関する計画【中期目標】

【安心安全な教育の推進】

- 令和4年度～令和7年度の年度末、学校で認知した、いじめについて、解消した割合を100%にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 被災地や被災者の方々への支援や、地域との合同防災訓練などを基盤とした防災教育を積極的に進め、傘をやり、地域に貢献できる道徳心・社会性を育成し、令和7年度末の校内調査における、「命や人権の尊さ、互いを認め合う等を考える機会がある。」に肯定的な回答をする生徒の割合を95%以上にする。
- 令和7年度末の校内アンケートにおいて「生徒会や委員会活動・係活動に積極的に参加している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行い、持続可能な未来社会の作り手となるための資質・能力を身につける。その実現に向けてのキーワードを「ウェルビーイング」「個別最適化」「探究学習」「総合的読解力」とする。
- 令和7年度の中学校チャレンジテストの平均正答率(平均点)3割以下の生徒を、いずれの学年も令和4年度より2%減少させる。
- 毎年度末の校内アンケートにおいて、「どの授業も集中して取り組んでいる。」の項目に対する肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目において、男女とも全国平均を上回る種目数を6種目以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を令和4年度からの4年間で5%増やす。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の中学校チャレンジテストの平均正答率(平均点)3割以下の生徒を、いずれの学年も令和4年度より2%減少させる。
- 毎年度末の校内アンケートにおいて、「どの授業も集中して取り組んでいる。」の項目に対する肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 教員全体の指導力向上、とりわけ若手層の教科・生徒指導力の向上を目指す。最終的に年度末の校内調査において、「指導力向上のための相互授業参観や研究授業、意見交換が行われている。」に対する肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケートの「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を、令和4年度より3ポイント増加させる。
- 令和7年度の校内保護者アンケートにおける「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の項目について、肯定的に回答した保護者の割合を、令和4年度より3ポイント増加させる。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

【平均正答率(%)】

国語	数学	英語
68	57	45

【概要】

正答率の大阪市比 国語…+1 数学…+8 英語…+1
 正答率の全国比 国語…-1.8 数学…+6 英語…-0.6
 ・国語、数学、英語の平均正答率はすべて大阪市平均を上回っている。
 ・数学の平均正答率は全国平均も上回っている。

【成果と課題、アクションプラン】

1. 「人間尊重の精神を基盤とし、生きる力を育み、豊かな心を育てる」ことを学校教育の目標に掲げ、様々な教育活動を進める。
2. 放課後や長期休業中の学力補充や家庭学習の定着化、習熟度別少人数授業の充実、小中一貫した教育の推進などに取り組む。

以上のことを踏まえ教育活動を進めている。
 また、自分の考えを発表したり、生徒間で話し合う場面を多く取り入れたり、授業形態をさらに確立していくために、各教科、領域での指導方法の研究を継続して進めていく。

Osaka Metro 谷町線・鶴見線谷町六丁目駅③出口 南東400m



令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【平均値】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mSR
2年 男子	32.90	33.66	52.19	60.81	95.03
2年 女子	27.72	24.37	46.39	50.78	60.93

	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
2年 男子	7.97	193.77	20.63	49.61
2年 女子	8.59	173.53	16.07	55.24

【概要】

《男子》

全国と比較して、握力+3.88、上体起こし+7.84、長座体前屈+8.03、反復横とび+9.59、20mシャトルラン+16.96、50m走+0.04、立ち幅とび-3.52、ハンドボール投げ+0.23、体力合計点18.29の結果であった。8種目中7種目で全国の結果を上回った。

《女子》

全国と比較して、握力+4.57、上体起こし+2.75、長座体前屈+0.12、反復横とび+5.13、20mシャトルラン+10.23、50m走+0.36、立ち幅とび+7.19、ハンドボール投げ+3.64、体力合計点18.02の結果であった。全8種目全国の結果を上回った。また、体力合計点でも上回ることができた。

【今後に向けて】

男子では、立ち幅とびで全国平均を下回り、跳躍力を向上させるために、跳躍運動や筋力トレーニングなどの運動機会を増やしていく必要がある。女子では、長座体前屈は全国平均を上回っているものの、差は小さく柔軟性を向上させるために、ストレッチや柔軟体操の機会を増やしていく。

卒業後の主な進路

卒業生数 令和3年度112人 令和4年度126人 令和5年度122人

【国公立高校・高等専門学校】

旭(4)・阿倍野(4)・生野(6)・生野工業・生野支援・泉尾工業・市岡・今宮・今宮工科・桜和(5)・大阪教育大学附属天王寺・大阪公立大工業高専・大阪ビッパロニア(6)・大阪わかば(3)・大手前(6)・門真西・かわち野・岸和田・柴島(4)・工芸(3)・高津(9)・港南造形(10)・堺東・咲くやこの花・桜宮(3)・四條畷・清水谷(10)・水都国際・住吉(5)・住吉商業・成城(3)・中央(7)・天王寺(3)・長吉・奈良高専・農芸(3)・花園・汎愛・阪南・東(6)・東大阪市立日新・東住吉・布施(5)・布施北・みどり清朋・港(4)・都島工業・桃谷・守口東・八尾(6)・八尾北・山本・夕陽丘(3)

【私立高校・専修学校・専門学校】

藍野・あべの翔学(6)・上宮(16)・上宮太子・ヴェリタス城星学園・英真学園・英風・N高等学校・S高等学校・大阪(4)・大阪偕星学園(6)・大阪学院大・大阪学芸(4)・大阪薫英女学院・大阪国際・大阪産業大学(4)・大阪商業大学・大阪女学院・大阪スクールオブミュージック・大阪成蹊女子・大阪つくば開成・大阪桐蔭・大阪美容・大阪夕陽丘学園(25)・大阪緑蔭・大谷・香ヶ丘リベラル・関西情報・関西大学北陽(5)・関西福祉科学大学(3)・近畿大学泉州・近畿大学附属(8)・金蘭会・クラーク高等学院・建国・興國(14)・金光藤蔭(3)・堺リベラル・滋慶学園・四條畷学園(6)・四天王寺(3)・樟蔭(3)・常翔学園・城南学園・昇陽(4)・星翔・宣真・相愛・大商学園・天王寺学園・中央学園高等専修学校・浪速・パンタン高等学院・初芝橋本・阪南大学・東大阪大学敬愛・桃山学院(8)・プール学院(5)・屋久島おおぞら・八洲学園・ルネサンス大阪

※過去3年間の進学先を掲載しているが、3年間の累計が3人以上の学校については、人数を()内の数字で表記している。

地域に誇れる学び舎 地域とともに

大阪市立上町中学校 学校経営グランドデザイン

令和6年度
大阪市立上町中学校

上町中学校 学校経営グランドデザインは、大阪府教育振興基本計画をもちに、「全学力・学習状況調査」「全学力・運動能力・運動習慣等調査」等の各種学力調査及び、本校の「学校評価アンケート」における調査結果の分析を踏まえ、運営に関する主要な課題を、本校の教育活動充実に向け実践に取り組むためのものです。

◇ 学校教育目標 ◇

人間尊重の精神を基盤として、生徒一人ひとりを見つめる中で、教育内容の充実を図り、保護者・地域の信頼にこたえる教育を進める。

◇ 組織目標 ◇

全ての子どもが心豊かに強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。
あわせて、グローバル化が進化した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

◇ 3つの最重要目標と重点的に取り組むべき施策を推進するための9つの基本的な方向 ◇

- I 安全・安心な教育の推進
 - ①安全・安心な教育環境の実現、②豊かな心の育成
- II 未来を切り拓く学力・体力の向上
 - ③幼児教育の推進と質の向上、④誰一人取り残さない学力の向上、⑤健やかな体の育成
- III 学びを支える教育環境の充実
 - ⑥教育DX(デジタル化)の推進、⑦生涯学習の支援、⑧家庭・地域等との連携、⑨協働した教育の推進

～生徒の瞳が輝き、笑顔があふれる学校～

- ・「愛を大切に 心の教育」を大切にします。
- ・「優しい言葉」「温かい言葉」「親切な言葉」を大切にします。
- ・人権教育、道徳教育、防災教育を関連づけ、3年間を通じた教育活動を推進していきます。
- ・キャリア教育を推進し、「生き抜く力」の育成につなげます。
- ・職場体験学習・ボランティア活動・海外研修の充実
- ・すべての生徒がICTを活用し、新しい社会に対応できる力を育成します。またICTを活用した教育活動を推進します。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行い、持続可能な未来社会の作り手となるための資質・能力を身につける。その実現に向けてのキーワードを「ウェルビーイング」・「個別最適化」・「探究学習」・「総合的読解力」とする。

UEMACHI
魂

なんかいい感じの上町中学校

～今年度、主に取り組む「課題」～

- ・下道校舎を第一 関係機関との連携
 - ・学力の向上 → 習熟度学習の充実
 - ・心豊かな授業（生徒の垣越え）
 - ・ド域・保護者への情報提供 → デジタル機器の可整備
 - ・教職員の働き方改革一歩一歩の二歩・部活動指導員増
 - ・保護者良型の組織 → 必要物品の見直し等
- その他
・大阪市の施策を提供する措置にできる限り実効する方向で行事を調整する。

◆ 安心・安全で信頼のある学校 ◆

- ・上町台地に関する蔵書を充実させ地域の歴史を調べるなら「上中の図書室にいけ」が合言葉になるよう推進します。
- ・課題に対しては、教育は、「全日行く」をモットーに、迅速に対応し、安心で安全な教育環境を実現していきます。
- ・教育相談の機会を設け、いじめ・不登校・問題行動等に対し、関係諸機関と連携し、組織で対応していきます。
- ・「学校ホームページ」を充実して、教育内容の情報発信に努めていきます。
- ・P(plan)D(do)C(check)A(action)サイクルの学校評価活動を推進し、信頼される学校づくりに努めます。
- ・安全・安心・防犯に関する設備を充実させます。

健康で心豊かな心身の育成

- ・生徒の体力の向上に努めます。
- ・意欲を高める体育・健康等の授業を推進し、「全身体力・運動能力・運動習慣等調査」において、全国平均以上をめざします。
- ・健康教育・食育指導の充実を図ります。
- ・生涯学習と食生活の改善について家庭とともに考え、取り組んでいきます。

『確かな学力』＝基礎基本の着実な定着＝



『感動を呼ぶ学校行事』＝仲間と一緒に＝



『可能性を伸ばす部活動』＝挨拶と礼儀を学ぶ＝



—令和6年度 中学校部活動（参考）—

注意 令和7年度以降の活動を確認するものではありません。

東中学校	
運動部	文化部
野球部	吹奏楽部
女子バレーボール部	家庭科部
水泳部	美術部
男子バスケットボール部	茶道部
女子バスケットボール部	ガーデニング部
剣道部	E S S 部
男子ソフトテニス部	技術部
女子ソフトテニス部	
サッカー部	

南中学校	
運動部	文化部
バスケットボール部	音楽部
水泳部	美術部
サッカー部	パソコン部
体操部	
※男女とも、すべての部活動に入部できます。	

上町中学校	
運動部	文化部
サッカー部	美術部
野球部	家庭科部
卓球部	合唱部
バドミントン部	園芸部
女子バレーボール部	
ハンドボール部	

ご協力をお願い



大阪市立小中学校に入学されない場合は 区役所にて手続きをお願いします

私立・国立等の学校へ入学が決定し、中央区内の市立小中学校に入学されない場合は、速やかに区役所にて手続きをお願いします。

窓 口 中央区役所窓口サービス課 （1階8番窓口）

持参物 入学先の学校から発行される「入学許可書」(原本)

補欠登録となった方が、繰上当選の連絡を待ってられます。

繰上手続きや次年度の学級編成を円滑に進めるためにも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

学校選択制の制度や本冊子に関するご質問は

中央区役所市民協働課までお問い合わせください。

電話 06-6267-9743 fax 06-6264-8283

(月～金：9:00～17:30)

(English)

For questions on how to choose schools or about this booklet, please contact the Civil Participation and Collaboration Department, Chuo Ward Office.

TEL: 06-6267-9743 (Monday to Friday - 9:00 to 17:30)

If you require language support, a three way telephone service is available where you can talk to the staff and interpreter at the same time.

(中文)

有关择校制的制度及本手册相关的疑问，
请咨询中央区役所市民协働课。

电话 06-6267-9743 (周一～周五：9:00～17:30)

可受理三人间同时通话咨询，该咨询提供同步翻译服务。

(한국・조선어)

학교 선택제 제도와 본 책자에 관한 질문은

쥬오구청시민협동과 로 문의해 주십시오.

전화 06-6267-9743 (월～금：9:00～17:30)

통역 지원으로 3 자간 통화가 가능합니다.